

Vol.
348

令和5年1月

み お つ く し
標 零

土地家屋 調査士 大阪

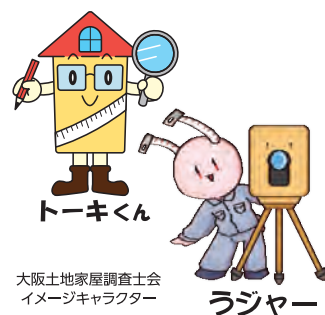


境界
紛争

ゼロ
宣言

大阪土地家屋調査士会

〒540-0023 大阪市中央区北新町3番5号
TEL: 06-6942-3330 FAX: 06-6941-8070
e-mail otkc-3330@chosashi-osaka.jp



大阪土地家屋調査士会
イメージキャラクター

大阪土地家屋調査士会
大阪弁護士会

土地の境界問題でお困りの方
「境界問題相談センターおおさか」で解決できるよ!

市民
紛争当事者



合意解決

境界の専門家「土地家屋調査士」と
法律の専門家「弁護士」との
協働による紛争解決機関です。

境界問題相談センターおおさか

隣人との話し合いによる解決を目指します。
お気軽にご相談ください。

要予約 06-6942-8750

受付／月一金 9:00～17:00(土・日・祝は除く)

※電話での相談はお受けいたしておりません。当日ご予約なしでお越しになられた場合
ご相談を受けていただけない場合がございますのでご注意ください。

〒540-0023 大阪府大阪市中央区北新町3番5号

大阪土地家屋調査士会 会館5F

電話 (06) 6942-8750 (代表) FAX (06) 6942-8751

E-mail: soudan@chosashi-osaka.jp



4 謹賀新年 集い、話し合う。より良き未来のために

	会 長 中林 邦友
新年の御挨拶	大阪法務局長 山地 修
新年のご挨拶	公嘱協会理事長 船原 大弘
新年のご挨拶	協同組合理事長 辰巳 好数
謹賀新年	政治連盟会長 加藤 幸男

10 卯年生まれの会員 今年の抱負

17 令和4年度 第1回会員研修会『不動産表示登記事務取扱基準の改正について』

18 第35回 日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ京都大会へ参加 !!

20 3年ぶりに開催 !! 第35回 大阪土地家屋調査士会親睦ゴルフ大会

22 〈大阪城支部〉中央区民まつりのご報告

23 〈北河内支部〉「第一回 水都くらわんか花火大会」に協賛 !

24 〈北摂支部〉令和4年度 吹田市地域防災総合訓練ブース展示のご報告

25 〈泉州支部〉和泉市立横山小学校150周年記念事業

29 情報公開に関する規則、戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書取扱管理規程、
補助者規則の一部改正、イントラネット検討委員会規則の新設について

30 政治連盟だより

31 大阪公嘱協会だより 第38回定時社員総会を開催／第9回理事会を開催

32 協同組合だより 大阪土地家屋調査士会 後援のレクリエーションを開催しました

33 大阪青年土地家屋調査士会だより

34 会員異動

36 常任理事会・理事会

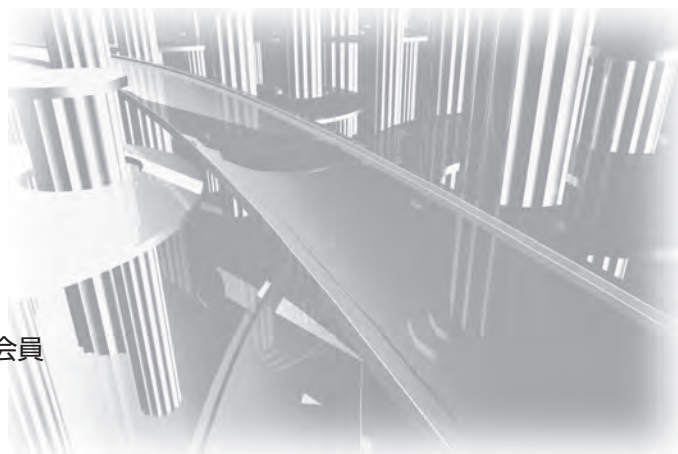
38 業務日誌

42 公嘱協会の動き

42 行事予定

43 編集後記

44 訃報／おくやみ／訃報の対応／支部別会員数／名誉会員



謹賀新年

集い、話し合う。 より良き未来のために

会 長 中 林 邦 友



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

昨年はWithコロナの生活様式が浸透しだしたとはいえ、まだまだ不慣れで戸惑うことがたくさんありました。

調査士会の会務においても、「もう通常の会務を」と考えていても集まって会議や打ち合わせをすることに何となく後ろめたさを感じたり、集まってもらうことにためらいを感じたりしていました。特に令和4年に力を入れて取り組もうと考えていた他土業の会との協議、打ち合わせについては各々の会によってコロナに対する温度差のようなものがあり、会によっては集まって行う打ち合わせに消極的な会もあり、コロナ禍で議論を中断している間に会長や担当役員さんが交代され引き継ぎがされていなくて最初から説明をすることもあり、苦労しました。

さまざまな集まりもコロナのまん延状況によってZoomで行ったり、併用したりすることが当たり前になり移動の労力、時間の削減が少なからずできるようになりましたが、やはり議論は集まって顔を突き合わせないと深まらないことも再確認しました。

コロナ禍が終結したわけではありませんでしたが、秋ごろから集まって行う事業、懇親会が増えたように感じました。

大阪会定時総会は懇親会を自粛しましたが、その後に開催された近畿ブロック協議会をはじめ、各ブロック協議会は構成員が全て集まり、式典、懇親会も行う通常の形で開催されました。

東京で行われた元連合会会長の叙勲パーティーには多くの調査士仲間が集い祝福しました。

連合会のゴルフ大会も近畿ブロックが担当し3年ぶりに開催されましたし、大阪会でも協同組合主催のバーベキュー大会が3年ぶりに盛大に行われ、支部長会議主催ゴルフ大会も3年ぶりの開催で大いに盛り上がりました。

コロナ禍が終結したわけでも特効薬ができたわけでもありませんが、今年は多くの人の話を聞き、思いや考えを伝えて大阪会や大阪の調査士会会員のより良き未来のために頑張らせていただきたいと思います。

何卒、いろいろなご意見、ご協力をよろしくお願いいたします。

2023



新年の御挨拶

大阪法務局長 山 地 修



明けましておめでとうございます。

大阪土地家屋調査士会及び会員の皆様には、日頃から法務行政に御理解をいただくとともに、表示登記及び筆界特定事務の適正・円滑な遂行に御協力をいただき、心から御礼申し上げます。

本年も、昨年同様、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は、令和2年、令和3年と同様に、社会経済活動が新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。他方で、感染症対策と社会経済活動とを両立させる「新しい生活様式」が定着してきたように思います。こうした中で、「Withコロナに向けた政策の考え方」が示され、新型コロナウイルス感染症対策は新たな段階に移行しているといえます。大阪府内では、昨年、造幣局の桜の通り抜け、天神祭の陸渡御、岸和田だんじり祭が3年ぶりに（通常）開催されるなどの明るい話題もありました。法務局も、引き続き、感染症対策と、社会経済の要請に応じた職務の遂行とのバランスを取りながら、円滑な業務の継続に努めているところです。

このような状況の下において、法務局には、不動産登記制度を始めとした社会経済活動の基盤となる社会的インフラを確実に形成・維持することが求められています。大阪法務局においては、本年も、法務局に対する国民の期待と信頼に応えるため、職員一同、不動産登記等の各種業務に取り組んでまいりたいと考えております。

以下では、大阪法務局をめぐる諸情勢について、登記事務手続に関する事項を中心に、御紹介したいと思います。

第1に、表示登記について、登記所備付地図の整備の推進は、「所有者不明土地等対策の推進に関する基本方針」（令和4年5月27日関係閣僚会議決定）に「土地に関する重要な情報基盤である登記所備付

地図の整備」が明記されているほか、「経済財政運営と改革の基本方針2022」（令和4年6月7日閣議決定）においても、同様の方針が明記されるなど、引き続き政府の重要施策として位置付けられています。

大阪法務局においても、現在、茨木市において都市部地図混乱地域における登記所備付地図作成作業（従来型）を、堺市において大都市型登記所備付地図作成作業を、それぞれ実施しています。いずれの作業も順調に進められています。

また、大阪法務局では、「不動産の表示に関する登記事務取扱基準」を令和4年10月に改正しました。この改正は、近年、筆界確認情報の取得に困難を伴うことがあり、円滑な不動産取引の阻害要因になっている旨の指摘を背景に、「筆界認定の在り方に関する検討会」が令和3年に取りまとめた「筆界の調査・認定の在り方に関する検討報告書」や、令和4年4月14日付け法務省民二第535号民事局長通達「表示に関する登記における筆界確認情報の取扱いについて」及び同日付け法務省民二第536号依命通知の別添「表示に関する登記における筆界確認情報の取扱いに関する指針」を踏まえたものです。大阪土地家屋調査士会及び会員の皆様には、上記取扱基準に基づく運用につきまして、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

第2に、筆界特定制度について、同制度は、創設から17年目を迎え、大阪法務局管区内は、申請数、終了数ともに全国トップ水準の事件処理がされています。さらに、令和2年には土地基本法等の一部を改正する法律が施行され、一定の要件の下で地籍調査を行う地方公共団体による筆界特定の申請が認められるなど、地籍調査、地図整備との連携が図られており、同制度に対する需要が更に高まることが予想されます。この2、3年、コロナ禍で現地立会作

業等が従前どおり行えないことの影響もあって処理期間が若干延びてしまう傾向にありましたが、標準処理期間9か月以内を目指して、業務体制を改善するなど、適正・迅速な処理に取り組んでいます。

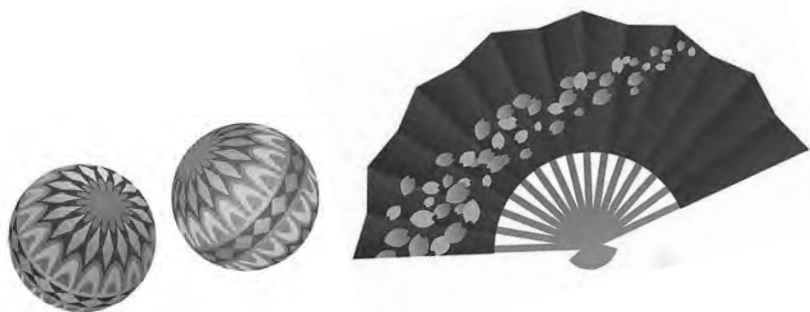
第3に、所有者不明土地の解消に向けた取組について、令和3年の改正民法・改正不動産登記法・相続土地国庫帰属法が本年から順次施行されていきます。具体的には、本年4月に新たに相続土地国庫帰属制度が開始されるとともに、令和6年4月には相続登記の申請義務化が始まり、令和8年4月までに住所等の変更登記の申請義務化、所有不動産記録証明制度が始まります。これらの制度は、各方面から強い期待と関心が寄せられているところです。大阪法務局では、相続土地国庫帰属制度、相続登記の申請義務化等について、積極的な広報活動を行い、周知徹底に努めるとともに、関係機関等との連携を図りながら、円滑な施行につなげていきたいと考えています。

以上、登記事務手続に関する事項を中心にみてきましたが、その他にも、大阪法務局では、国民の期待と信頼に応えるために、多くの重要な施策を推進

しています。大阪法務局がこれらの施策を円滑に実施するためには、「不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家」である大阪土地家屋調査士会会員の皆様の御協力や、大阪土地家屋調査士会と大阪法務局とのより一層の連携・協力が不可欠です。改めて、これまで以上の御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、大阪法務局では、これまでも皆様に登記関係オンライン申請の積極的な利用をお願いしてきたところです。大阪法務局管内におきましても、年々利用率は上昇しており、多くの土地家屋調査士の皆様にオンライン申請を利用いただいているところです。オンライン申請の利用は、デジタル化する社会の流れに沿うものですので、なお一層の御利用をお願いいたします。

本年は、大阪法務局の本局が、築後45年を経過した旧庁舎から、谷町四丁目駅近くの新庁舎に移転するという節目の年に当たります。新しい年が、大阪土地家屋調査士会及び会員の皆様にとりまして、飛躍の年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。



頌佳青陽

会長 中林 邦友

副会長 松島 稔

副会長 山脇 優子

副会長 相澤 豊雄

理事 一 同

監事 一 同

顧問・相談役・参予一同

綱紀委員会委員一同

境界問題相談センター

おおさか推進委員会委員一同

各委員会委員一同

協同組合役員一同

政治連盟役員一同

事務局職員一同

新年のご挨拶

公益社団法人大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会

理事長 船 原 大 弘



新年明けましておめでとうございます。

旧年中、大阪土地家屋調査士会会員の皆さまには、公益社団法人大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会に格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

いまだ続くコロナ禍に加えウクライナ危機、台湾問題、円安など世界が急に動き出した感じでしたが、皆さまにとってどんな1年だったでしょうか。当協会は新体制2年目を迎え、まだまだ手探りではありますが理事、事務局とともに会議を繰り返す日々でした。ようやく対面で会議ができるようになったのはうれしい限りで、やはり膝を突き合わせて議論し合う重要性を感じました。

行事としましては今年度も自主事業の一環として一般の方向けの講演会をウェビナーで開催しました。今年度の試みとしまして、ウェブ配信の利点を活用して平日と土曜日の2回にわたり配信させていただきました。これにより平日お勤めの方も視聴が可能になり、おかげさまで今までで一番の視聴者数となりました。

ご視聴くださった皆さま、またアンケートの回答で激励のお言葉を多数お寄せくださった皆さま、誠にありがとうございました。本年も、より多くの方にご参加いただけるような興味深いテーマをご用意し開催していきたいと考えております。どうぞご期待ください。

さて、業務の面でも引き続き工夫が求められる昨今ですが、当協会では従来からの法64条業務の他、不動産登記法14条1項地図作成作業や官民境界確認補助業務にも力を注ぎ、広く官公署からのご相談に対応しております。それに加え、昨年ようやく実現した他協会への視察研修で学んだことを参考に、今年は特に地籍調査事業にも力を入れていこうと考えています。その他にもいろいろな新規業務もどんどん企画し、行政に働き掛けていきたいと考えています。さまざまな官公庁の業務を幅広く行っていくことで土地家屋調査士をより深く認知していただけるよう努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、この1年が皆さまにとりまして素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

慶雲昌光

大阪土地家屋調査士会

支部長会

中河内 米山 太一郎

(支部長会議議長)

堺 川口 良仁

(支部長会議副議長)

北河内 阪口 太

(会計)

北 佐々木 志展

中央 延山 奎柄

大阪城 西田 修尋

北摂 黒田 聡

泉州 達 光隆

新年のご挨拶

大阪土地家屋調査士協同組合

理事長 辰 巳 好 数



新年明けましておめでとうございます。

会員・組合員の皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろより当組合に関してご協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大から、出口の見えない閉塞感を抱えてきましたが、ようやく光が見え始めたような気がします。

当組合でも、令和元年に実施して以来、できなかった恒例のBBQを開催しました。

ハイキングは兼ねていませんが、参加人数も100名程とたくさんの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。

おかげさまで天候にも恵まれ、自然と触れ合い、久しぶりの開催とアルコールの効果（笑）で皆さまには楽しんでいただけたのではないかと思います。

当組合は福利厚生を目的として誕生したのでこのような厚生事業ができることを嬉しく思い、同じような企画ではありますが、毎回違った触れ合いがあるなどそれなりに楽しんでいただいているのではないかと思いますので、皆さまのまたのご参加をお待ちしております。

販売商品の一部になりますが、収入印紙、切手、レターパック、調査測量報告書ファイル、作業服、プレートなど販売しており、本会に行かれた際にはお立ち寄りいただき、商品を見に来ていただけたらと思います。またご存じかもしれませんが、研修会場などでも展示を行っておりますので、ご購入を検討していただけると幸いです。

最後になりましたが、新しい年がさらに良い年になりますように祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



謹 賀 新 年

大阪土地家屋調査士政治連盟

会 長 加 藤 幸 男



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましてはご家族おそろいで健やかなる新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

調査士制度は昭和25年7月に制定施行され、本年度で72年の歴史を積み重ねてまいりましたが、国会での法制定に至るまでには昭和2年に当時の信州松本税務署で「不動産に係る調査の専門家が必要である。」という法制定運動の種火が上がり翌昭和3年に当時その業務に当たっていた土地調査員（約240名）に国家資格を与えるべき運動により昭和13年に長野県土地調査員会が創設の後、昭和16年に従来の嘱託員制度から免許制度に改正すべきと国会に請願書が提出され、その後数度にわたり請願運動が展開され、昭和25年のGHQの税制改革によるシャープ勧告により同年7月31日の第8回臨時国会に税法改正案とともに土地家屋調査士法（法律第228号）の制定が公布され、その後、数次の改正により現在に至っています。

昭和2年からこの制度制定に情熱を持って長年ご尽力いただきました多くの先人各位の行動があればこそ私たち調査士、全国約16,000余名の会員が現在業務を行い、生計を立てているところでありますし、昭和25年の制度制定以降、過去の多くの役員の皆さまの多大なご努力がなければ現在の私たち調査士はあり得ません。

その大いなる恩恵のもと、会員各位は日夜弛まぬ精進を重ねられ、おのおのの事務所経営をしておられることは存じますが、この制度をよりよい制度にし、後世の調査士に託し、国民の皆さまのご期待に添うべき制度に発展させなければなりません。

それも現在の私たち調査士の使命の一つでもある

と思いますし、私たちの調査士制度は私たちが守り、充実発展させなければこの制度の存続はあり得ません。

他力本願では衰退するのみです。

まずは大阪会の会員の皆さまとともに成し、全国に広げ社会的地位向上を行い、資格者団体としてもそのリーダーシップを取るべき活動を行いましょう。

大調政連はその活動に向けまい進いたしたく思っていますので、本年も会員の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

政連への入会金は0円で会費は年1万円（1ヶ月約830円）で1ヶ月コーヒー2杯分です。

どうか政連に皆さまの温かいご理解とご協力をお願いいたします。

政連は必ず答えを出させていただきますので、ぜひご入会ください。役員、会員一同心よりお待ちしております。





年生まれの会員

今年の抱負

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

いや～、FIFAワールドカップ。日本大変惜しかったですね～。ベスト8まであと一歩！ ドイツ、スペインという優勝経験国相手に2度も勝利するなんて…寝不足を吹き飛ばしてくれる激戦でした！ 森保Japanお疲れさまでした！

さて、去年一年を振り返りますと、いろいろありましたが、ロシアによるウクライナ侵略、安倍元首相への銃撃、やはりこの2つが大きな出来事だったと思います。残念ながら2つとも大変悲しい出来事でした。

今年はHAPPYな出来事がたくさんありますように祈願しまして、毎年恒例の各会員の抱負のコーナーです。

今年は、十二支の4番目「卯年」です。株式相場では、【辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌は笑い、亥固まる、子は繁栄、丑はつまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる】という格言があるとか。つまり景気が上向く（跳ねる）とか。これはみなさん大変ですね。今年は仕事だらけの年になりそうですね！

また、卯年生まれの性格は「周りの人を自然と明るくする人が多い。しかし、反面ちょっとしたことで傷つきやすい繊細さがある」といわれているとか。皆さまどうですか？



今年は、1951年、1963年、1975年、1987年生まれと4世代の先生方の抱負をいただきました。

(社会事業部理事・玉置直矢)

協同組合の発展とともに

北支部
甲斐 健児



新年明けましておめでとうございます。

大阪土地家屋調査士会には平成6年に北支部で登録させていただき、開業当初はいろいろとありまして、平成10年に堺支部へ移籍し、平成12年には旧西支部に移籍させていただきました。

結局、最後には北支部と西支部の合併があり、結局北支部に戻ることとなりましたが…。

そんな中、平成8年に大阪土地家屋調査士協同組合の発足がありましたが、開業当初はいろいろと事情があって協同組合には加入しておりませんでした。

旧西支部に移籍したときに組合理事としての入会要請があり、お恥ずかしい話ですが、慌てて出資金1万円を支払って協同組合に入会した次第です。

それから理事、幹旋事業部長、副理事長、そして理事長を4期8年させていただきましたが、土地家

屋調査士と協同組合と今までやってこれたのはいろいろな諸先輩方のご指導のおかげであり、感謝の念に堪えません。

もちろん現在も副理事長として諸先輩方が発足させた協同組合のさらなる発展のため微力ながら頑張っている次第であります。これを書いているのはちょうどコロナ渦によって中断されていた大阪土地家屋調査士会後援のバーベキューを行った直後です。

以前にも何度かバーベキューを行っていた生駒山麓公園で、3年ぶりの開催となりました。たくさんの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

協同組合の発足は大阪土地家屋調査士会の福利厚生事業のためでもあり、今後も会員の皆さまのお役に立てるような商品の開発など研さんを進めてまいる所存です。皆さまも大阪土地家屋調査士会館に来られた際には協同組合にもお立ち寄りいただき、測量機材や作業服など手に取ってご覧ください。

最近の新しい商品としてはバックプリント入り軽防寒作業着も販売しております。詳しくは協同組合のHPをご覧ください。(URL:chosashi-coop.net)

今後とも大阪土地家屋調査士協同組合をよろしくお願いいたします。



出会い 土地家屋調査士人生 最大の幸運

中央支部
佐藤 俊輔



新年明けましておめでとうございます。

本寄稿のご依頼をいただいてから本日まで何を書こう、何を書こうと悩んでおりましたが、いよいよ締切日の当日となってしまったので、悠長に考えている暇もなく、せっかくなのでこの機会に自分の土地家屋調査士人生を振り返ってみようかと思います。

大学を出てから1年間プー太郎をしていた私は、いよいよこのままではまずいということで、「何か資格でもとろう!」「資格の勉強でもしていれば就職していなくても多少は気まずくないかも…」といった不純な動機でいろいろと探していたところ、この資格を発見しました。

事務仕事と現場作業が半々で…みたいなことが書かれており、1日ずっと座って仕事をするよりは自分の性分にあっているかもということで早速勉強を開始したものの、1年目は案の定不合格。さすがに2年間もプー太郎を続けるわけにもいかないので、就職活動開始。

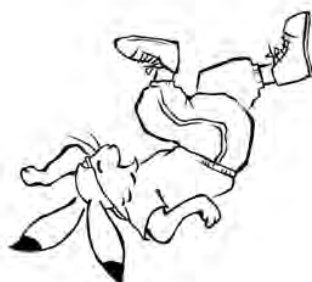
大阪土地家屋調査士会の補助者募集ページで早速応募したところ、なんとか就職できました。結局、

5年間在籍し、その後独立したため、私の社会人経験はこの某事務所に限られることになるのですが、この事務所に就職できたこと、そしてこの事務所で仕事のイロハを厳しくも優しく、いや、厳しくも厳しく叩き込んでいただいたK先生と出会えたこと、これが私の土地家屋調査士人生の最大の幸運だったのではないかと思います。

当時、器械すら触ったことのなかった私は、当然測量の「そ」の字も知らず、初めて連れて行ってもらった箕面市の現場は今でも鮮明に覚えております。帰りがけ、車に資料を置いたまま発進し、風に舞う資料を必死に追い掛けたのは今でも良い思い出です。その後、日中は仕事に没頭し、夜は事務所の会議室をお借りして試験勉強。ハードな毎日のおかげで無事2度目の受験で合格することができました。合格発表日、吹田市の現場帰りで、甘いもの好きなK先生と車中でソフトクリームを握り締めたまま2人で叫んだことを昨日のここのように覚えております。

その後…を書こうと思いましたがノルマの800字をすでに達成したため、一旦ここで振り返るのをやめておこうと思います。12年後、48歳になったときにこの続きを改めて振り返られるように、そのときまではまた1日1日、歳のことなんて忘れて頑張って仕事をし続けられたらと思います。

「今年の抱負」というテーマからは逸脱してしまいましたが、何とか締切日に間に合うこともでき、ほっとしたところで、今年も皆さまにとって良い1年となることを願い、新年の挨拶とさせていただきます!



オンライン申請とともに歩んだ 20年間

大阪城支部
正井 利明



私が大阪土地家屋調査士会に登録したのは2004年（平成16年）の1月で、くしくもその年の3月に不動産登記法の大改正があり、オンライン申請がかすかな産声を上げました。その法改正から1年後の2005年3月22日にオンライン申請が本格的に開始されたのです。

登録後2年半ほどが経過したころに当時私が所属していた南支部（現中央支部）で私に最初に与えられたミッションは、本会主催のオンライン申請伝達研修会に参加してその内容を持ち帰り、支部で研修会をしてほしいというものでした。その当時は、業務上大きな変更があると各支部から2～3名程度が本会に集められ、伝達研修というものをを行い、それを各支部に持ち帰って支部研修を行うという仕組みが存在していたのです。今から思うに、この仕組みは内部講師を半強制的に育成するという意味で非常に優れたものであったと思います。

それはさておき、伝達研修に参加させていただいた（当時新参者の）私は、オンライン申請というものに本格的に触れ、自身が研修会講師をする予定である関係から関連する研修会にも多数参加し、さまざまな文献を読みあさり、準備を進めたことを覚えています。今手元に残っている自己作成の研修会資料としては2006年10月4日付で（旧）南支部会員に配布するために作成され研修会テキストとその別紙が最古のものです。その直後に研修会が実施され講義をしたと記憶しています。自分で言うのも何ですが、体裁よくまとまっていて今読んでみても「よく頑張ったなあ」と感じます。

開始当初の（旧）オンライン申請システムは、今とは比べることすらできないほど事前準備が煩雑で、しかも電子証明書がICカードに格納されてい

たため原因不明の電子署名トラブルも非常に多く、その解決に多大な時間と労力が必要でした。毎日のように複数の方からトラブルの相談を受け、時には先方の事務所までお伺いし、朝から晩まで自分の仕事そっちのけで悪戦苦闘していたことを今でも覚えています。

それから月日は流れ、東日本大震災の直前2011年2月には現在の（新）オンライン申請システムが稼働を開始し、申請用総合ソフトがリリースされたことによって事前準備や環境設定が劇的に単純化されるとともに、電子証明書がICカード形式からファイル形式になったことで、電子署名に関するトラブル事例も激減しました。その後も日々オンライン申請システムは進化し続け、申請用総合ソフトも着実にバージョンアップを重ねています。今では電話での問い合わせもほとんどなくなっており、おかげさまで自分の仕事に専念できています。

2019年（令和元年）11月からは調査士報告方式による疑似完全オンライン申請が解禁となり、直後に発生した新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる行動制限下にあっても、影響をさほど受けることなく登記申請業務を継続することができました。まさに調査士報告方式様々です！

思えば、最初に（旧）南支部で研修会の講師をさせていただいたときからずっと私の土地家屋調査士人生はオンライン申請の利用促進事業とともにありました。オンライン申請を促進する活動を通じて自己研さんに磨きがかかると同時に本当にたくさんの方と巡り合うことができ、ほどなくして日調連にまでも呼ばれるようになりました。また、研修会の講師という側面でも支部研修会、本会研修会、さらには他の単位会での研修会でも講師をさせていただき、その上寄付講座の講師としても大阪大学法科大学院をはじめ複数の大学の教壇に立たせていただきました。本当にありがたい限りです。

今年は年男となり、2月の誕生日で還暦を迎えるわけですが、これまでお世話になった諸先輩方に深く感謝するとともに、まだまだオンライン申請利用率が低いとされているこの大阪の地で、これからも引き続き微力ながらオンライン申請の利用促進に向けた活動を継続していきたいと考えています。

どんなことにも前向きに

中河内支部
下農 淳也



新年明けましておめでとうございます。

今回「卯年会員の抱負」という寄稿依頼があり、今年で48歳4回目の年男を迎えて自分もいつの間にか50歳になるのかと実感しました。

振り返ってみると、土地家屋調査士の業務に携わり始めた20数年前からは業務の仕方が大きく変化しました。

法務局との手続きはインターネット化され、登記情報や図面の閲覧は全て事務所でできるようになり、法務局へ行かなくなりました。若い頃に法務局での物件調査で地積測量図を図面バインダーから外して、料金の高いコインコピーでたくさんコピーして手持ちのお金がなくなったことが懐かしく思い出

されます。得意先とのやり取りも事務所の電話やFAXから携帯電話やメールとなり平日夜間、休日を問わず、いつでも連絡が可能になり便利になった反面…。

一方現場での20数年は、街区基準点測量が通常化して測量の範囲は広がりましたが、測量機器や杭入れの道具に大きな変化はなく、自分たちが扱うことに変わりなく、立会依頼や境界立会での緊張感は全く変わりません。最近現場で測量の兄ちゃんと呼ばれることが減ったように思い、自分では変わっていないと思っていても見た目は変化しているのでしょうか。

本題に戻り、今年の抱負に限らず、これからも長く土地家屋調査士を続けていく上での抱負は「どんなことにも前向きに」です。これから先もこの業界がどんどん変化していく中で自分もどんどん歳を重ね、体力や気力も落ちていろいろなことが面倒になりがちなので「昔が良かった」と愚痴を言わず、変化を受け入れ、取り残されないようにどんなことにも前向きにやっていきたいと思います。

最後に皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

2023

吾輩は二世である。

北河内支部
武下 淳



新年明けましておめでとうございます。

本会から連絡があり、「なんかやらかしたかな？」と巡らせながら聞くと、『年男』とのことであった。

そこで自分が40代も終わりに近づいていることに気付く。感想は「歳取っても人は変わらんなあ。」

吾輩は二世である。土地家屋調査士仲間からは「楽でええな」とよくいわれる。確かに楽しめていると思う。この業界に入ったときから、事務所ある、器械ある、お客いる、状態である。困っても「パパ助けて～」といえぱなんとかなった。勤め時代と比べれば天国である。そんなある日、自分が担当した事件の登記申請に補正が付いた。担当登記官から「これあかんで、

取り下げて」といわれた。一応抵抗を試みたが、所詮半年程度の知識と経験。敵うはずもない。いつもどおりパパに電話をしようとした。「こらお前。いつまで親父に頼っとなねん。ええかげんにせいよ！」と怒られた。「3日間待ったる。それまでによく考えてこい！」といわれ、追い返された。「補正に來いていっという追い返すってどういうことやねん」とブツブツ言いながら、書籍を調べまくった。で、B4用紙いっぱい主張を書き倒し持って行った。「はい、これ。読んでください」「見とくわ」との素っ気ないやり取りがあり、次の日、「上がった」と登記官から。すぐ法務局に走り、帰りに登記官にお礼を伝えた。「親父安心させたれや」といわれた。そんなこともあり、現在に至る。

日々業務をこなすなかで、何かに頼りたくなるときが今でもある。いや、これからもずっとあるのだろう。僕という人間は変わらないのだから…。ただ、頼るものは変わったように思う。仲間である。

「どや、親父。安心できたか？」

「まだまだやなあ～」

うん?? 空耳か…。

還暦を迎えて

北摂支部
加藤 眞一



いよいよ還暦になります。今も気持ちは若いつもりですが、四十肩3回、五十肩2回経験し、ヘルニア腰痛や頸椎狭窄症、糖尿病の持病があるものの、大病も大怪我もせずなんとか今まで頑張ってきました。平成5年1月に登録してはや30年です。土地家屋調査士試験合格は長女が生まれた年でした。登録以降、親父の関係もあり支部役員や本会役員・各種委員を請けてきました。お役に立ててくれたか疑問ですが…。この歳になると得意先や役所の担当者もほぼ年下になってしまい、何かにつけて譲歩される立場になってしまいました。なんだか少し寂しい気分であります。調査士会以外にも今まで商工会議所や納税協会の役員を拝命してきましたが、副会長などのいわゆる充て職を拝命し、ひな壇役員となったりしています。ナンダカナア…。

個人的な話で恐縮ですが、最近では地元茨木市のま

ちづくり会社の役員になりました。ベッドタウンである衛星市の中心市街地をいかに活性化させるかの課題に取り組んでいます。古民家の再生事業や古物を扱う蚤の市イベントの開催、茨木地産の野菜販売マルシェなどいろいろな企画を仕掛けています。今年は駅前に露店カフェを作り、新しい駅の顔を造る事業に取り組んでいます。これが結構楽しくて、目論見どおりの効果の有無に一喜一憂したりしています。自宅では5年ほど前から有機菜園に凝っています。夏野菜、秋野菜の作付と害獣・害虫対策、連作障害の回避などいろいろと勉強しながら楽しんでいます。あとゴルフも頑張っています。この歳になって初めて本格的にスクールに通い始め、今までの独学のスイングを抜本的に変えて、いかに力まずに飛ばすかを目標に7番アイアン165ヤードを目指しています（今は150ヤードだけど…）。

要はいろいろマトメに入り始めているという報告です。還暦になると旺盛な好奇心が失せて、好きなことを徹底的に打ち込んでも責められない歳になったということなんですね。この先どれくらい続けられるかわかりませんが、好きなことを続けていきたいと思います。もしかしたら12年後の卯年にまたこの会報誌に寄稿するかもしれません。その際はその後どうなったかをお知らせしたいと思います。拙稿失礼いたしました。

2023

続けること

堺支部
中山 高良



ある調査士に「この歳になったら、何を言ってもかまわんやろ」と言ったら、「そら逆や。もっと丸うならなあかんのや」といさめられた。「なるほど、それもそうか」と思った。

しかし、急に生き方は変えられない。丸くなるのもよいが、人によりけりである。私が丸くなっても、怒った針千本のようになるだけだと思うので、「丸くなる」などといった大それた抱負はやめにして、今までどおりの生き方を続けていきたい。

続けていくことと言えば、数年前から古文書の調査会に参加している。これからも継続していきたい。強いて言えば、これが今年の抱負だろうか。

美木多^(※1) 調査会は、10年ほど前にこの地域の大庄屋から古文書を引き継いだ。調査会には、地元の歴史家、大学教授、堺市博物館の学芸員、堺市文化財課の方、和泉市の市史編さん担当者などが参加している。中世文書は、堺市博物館に所蔵され、重要文化財に指定されている。調査会では近世や明治期の文書を読み、整理し、目録を作成する。昨年は、パソコン入力作業も担当した。

「境界や登記に関する資料がないかどうか、ということに興味があって参加している」と不純な動機を伝えたら、「不純でもかまわない」と受け入れてくれた。

文書の中に、壬申地券^(※2) 地引絵図^(※3) の写しがある。カラフルで美しい、大きい図面である。地租改正地引絵図の写しは、堺市に保管されている。

地押^(※4) 調査図は、法務局に保管されている。これらがそろっている地域は少ないのではないだろうか。まだ見ていないが、地券大帳がある、と聞いている。さらに文書の中には、明治15年に土地の異動があったことが分かる文書がある。これについては、論考として調査会の会報に発表した。これが、どのように地券大帳に反映され、土地台帳に引き継がれていったのか、これがテーマだ。これを解明するためには、古文書を読む能力が必要である。進歩は遅いが、「継続は力なり」と頑張っていきたい。

- ※1 大阪府堺市の地名
- ※2 地券発行が開始された明治5年(1872年)の干支による呼称
- ※3 土地利用の様子や区画、所有者などを記した絵図
- ※4 田畑屋敷を測量して従来の段別を修正すること

温故知新 精進を重ねて 謙虚に人生を 歩んでいく

泉州支部
塩田 征司



新年明けましておめでとうございます。今年、私は48歳となります。若者からすれば50手前のおじいちゃん、調査士業界ではまだまだ若手、人生100年とすればもうすぐ折り返しの年となります。

さて、この原稿を書くにあたり、修行時代の頃の記憶を振り返ってみますと、懐かしくもありますので、ツラツラ書いていこうかと思えます。私がこの業界に入ったころは、日本でワールドカップが行われた2002年になります。補助者となり、師事しておりました先生に測量・事務作業など指導を受けておりましたが、今はもう使っていない機器が多くあります。まずはペンプロッターです。和紙やマイラー紙をロットリング^(※1)で作図する機械ですが、その動きはまるでロボットのように、その動きに見入った記憶があります。次に青焼き機、先程のペン

プロッターで明示図などをマイラー図で作図し、それを紙面化する機械。境界確定図などの図面を赤ペンで確定線をなぞっておりました。今ではその作業は複合機、大判インクジェットが代わりとなっております。1番びっくりした物は和文タイプライターです。先輩方には分かる方がいらっしゃると思いますが、漢字の金型をつかみ一字一字カーボンテープに打ち付ける機械です。古い登記簿など手書きではなく印字があるものはこれで作成されているとのことです。私自身はこれで共同担保目録を作成した記憶があります。測量作業については大きく変わっておりませんが、今はドローン、3Dスキャナーなど新しいものが目に付くようになっており、時代の進化を感じます。次の年男となるころにはどんな機器を使っているのか楽しみであります。

温故知新、まだまだ精進を重ねて謙虚に人生を歩んでいきたいと考えております。

最後に本年も皆さまのご多幸とご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

- ※1 コンピュータの出力機器の一種でベクターデータ(線を表現したデータ)を基に動作するものでペンを装着して用いられたもの



令和4年度 第1回会員研修会

「不動産表示登記事務取扱基準の改正について」

令和4年9月21日（水）、午後1時30分から3時まで、令和4年度第1回会員研修会が開催されました。

コロナ禍により、Zoomウェビナーを利用したオンライン研修が開催されていましたが、3年ぶりに、大阪市中央区の「エル・おおさか（大阪府立労働センター）」で開催されました。

定刻になり、業務研修部 森次裕一副部長の司会により開催され、大阪土地家屋調査士会 中林邦友会長から開会の挨拶がありました。

今回の研修は、「不動産表示登記事務取扱基準の改正について」と題し、大阪法務局民事行政部不動産登記部門 首席登記官 戸井琢也様からご講演していただきました。

所有者不明土地の問題が大きくクローズアップされており、そして、筆界特定の件数も増加していることから、弁護士、司法書士、土地家屋調査士らを交えて検討会を開催し、今回の改正に至ったようです。

基準改正の趣旨

筆界確認情報の提供に対する考え方や筆界の調査・認定の手法が示されたことなどに伴い、当局の不動産の表示に関する登記事務取扱基準の全部を改正するものである。

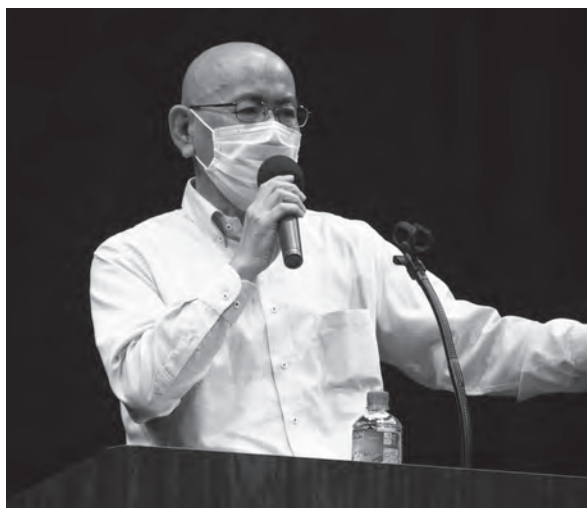
「筆界確認情報は、基本求めないが付けなくても良いものではない。必要なら添付する。」そして、新しく付け加えられた「登記官の心証形式」というご説明のところが、非常に強く残っています。

近年の押印見直しという政府全体の動きも影響しているようです。

筆界確認情報よりも、93条調査報告書に、登記官が認められるような調査・確認をした内容を記載されているほうが重要である、ということでしょうか。

調査・確認や調査報告書の記載を怠ったりしているわけではありませんが、平成23年改正以降も筆界確認書は、実印押印・印鑑証明書を添付していた私には、考えさせられる内容のご講演でした。

最後に、松島稔副会長の閉会の挨拶で終了いたしました。（社会事業部理事・彦坂浩子）



大阪法務局 民事行政部 不動産登記部門
首席登記官 戸井琢也様



会場参加者の様子

第35回

日本土地家屋調査士会連合会 親睦ゴルフ京都大会へ参加!!



第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ京都大会が日本土地家屋調査士会連合会近畿ブロック協議会・京都土地家屋調査士会の主催で、3年ぶりに令和4年10月7日(金)に前夜祭、10月8日(土)にゴルフ大会が開催されました。

前夜祭は京都駅前にある「ホテルグランヴィア京都」で、大阪会からの参加者3名を含め100名以上の会員が参加され、盛大に開催されました。

翌日、京都屈指の名門コースである「城陽カントリー倶楽部」で、大阪会からの参加者8名(加藤充晴総務部長、竹内秀治・塩田征司各総務部理事、井上直次・加藤幸男各監事、船原大弘公嘱協会理事長、橋本宗三・大山龍一各会員)を含め165名以上の腕自慢の会員が全国から参加され、午前8時20分東・西両コースより、一斉にスタートしていきました。プレー終了後、表彰式が開催され、大阪会からは日

調連会長賞を加藤監事が、飛び賞を竹内理事が受賞されました。

一方、京都観光コースとして、①洛南、②洛北・洛中の2コースが用意されました。①洛南コースは伏見稻荷大社・世界文化遺産である宇治平等院等を巡るコースで、宇治平等院では、鳳凰堂内部の拝観で係の方から説明をしていただき、観光終了後城陽ゴルフ倶楽部へゴルフ組を迎えに行き、京都駅へと向かいました。また、②洛北・洛中コースも同様に世界文化遺産である金閣寺・二条城・清水寺等を巡り、観光終了後、京都駅へと向かいました。

以上のとおり、第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ京都大会は無事終了しました。準備していただきました、京都・実行委員会の皆さまありがとうございました。

(社会事業部長・中島幸広)





左)加藤 幸男 監事



左)船原 大弘 大阪公嘱協会 理事長



左2番目)井上 直次 監事



左から) 橋本 宗三 会員、塩田 征司 理事、
竹内 秀治 理事、加藤 充晴 部長

前夜祭はホテルグランヴィア京都で





3年ぶりに開催!!

第35回大阪土地家屋調査士会親睦ゴルフ大会

令和4年11月16日(水)

北摂支部の佐野紀夫会員が優勝！ 団体戦優勝は中央支部！

コロナ禍で中止が続いておりました第35回大阪土地家屋調査士会親睦ゴルフ大会(支部長会主催・協同組合後援)が令和4年11月16日(水)に3年ぶりに開催となりました。

今年の会場は、3年前(前回)の個人・団体W優勝を飾りました北摂支部の方々が幹事となって用意された兵庫県川西市にある「山の原ゴルフクラブ」です。ABCカップゴルフ対抗戦や日本プロゴルフ選手権、つるやオープンのお会場となった名門ゴルフクラブ。松林に囲まれた雄大なスケールを持つ36ホールの丘陵コースで、大会が行われたのは山の原コース。距離が長くフェアウェイはフラットで幅が広いので、ロングヒッターが豪快なショットを楽しめる一方、バンカーが絶妙な箇所に多数存在していたため、ティーショットに悩むことも。



祝 個人優勝！ 北摂支部 佐野紀夫会員

少し冷え込んでいましたが、快晴のゴルフ日和の午前7時、OUT、INの2コースに分かれ総勢82名の参加者でスタートしました。最近では主流になってきているカートにスコアを直接入力する方法により、リアルタイムで参加者全員の順位が分かってしまうため、コースの合間も退屈することなく大変盛り上がったと思います。

プレー後は西田修尋支部長(大阪城支部)の司会で表彰式が行われ、前回大会優勝の北摂支部の黒田聡支部長、支部長会議長の米山太一郎支部長(中河内支部)のあいさつから始まり、個人賞のブービーメーカー、ブービー、飛び賞から10位～1位、ベストプロ、ドラコン、ニアピン賞の発表が次々に行われ、それぞれ表彰と賞品が授与されました。

その後会長賞をはじめとした特別賞の授与の際に、大阪土地家屋調査士会中林邦友会長、公益社団法人大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会船原大弘理事長、大阪土地家屋調査士協同組合辰巳好数理事



黒田聡北摂支部長 佐野会員 米山太一郎支部長会議議長

長、大阪土地家屋調査士政治連盟佐野紀夫会計責任者にそれぞれあいさついただきました。

今年の個人優勝は北摂支部の佐野紀夫会員、団体戦は中央支部となり、ここ数回続いていた個人優勝＝団体戦優勝が打ち破られ、各支部大いに盛り上がっていました。佐野会員、延山奎柄中央支部長に喜びのあいさつをいただき、最後に川口良仁支部

長会議副議長(堺支部)から閉会のあいさつがあり、大会は無事終了となりました。

コロナの状況で日々変わる社会情勢での開催で何かと大変だったと思います。支部長をはじめ、ご協力いただきました関係者の方々に感謝申し上げます。次回も楽しみにしております。

(社会事業部理事・玉置直矢)



延山奎柄 中央支部長

祝！ 団体戦優勝
中央支部のみなさんを囲んで



次回の親睦ゴルフ大会も楽しみにしております！



令和4年10月16日（日）、大阪市中央区にある「史跡 難波宮跡」で第34回中央区民まつりが開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されたため、今年も開催できるか心配されましたが、開催時間を午後1時から4時までの3時間に短縮し、感染対策のため、出展内容に一定の制限がかけられた状態で開催されました。

例年、大阪土地家屋調査士会大阪城支部社会事業部では「土地家屋調査士」の広報活動の一環として、この中央区民まつりに参加し、PR活動を行ってまいりました。

一般市民の方々に土地家屋調査士の業務を少しでも知ってもらうため「距離あてゲーム」という催しを行いました。このゲームはサイコロを振ってもらい、「出た目」の数の距離のところに目測（もしくは歩測）でプリズムのついた三角コーンを置いてもらい、スタート地点からの距離をトータルステーションで測り、どれだけ正確に置けるかを競うゲームです。「サイコロの目」なので、1メートルから6メートル程度の距離なのですが、なかなか難しくピッタリ当てるのはとても難しいゲームでした。来られた方々は順番が来るまで、練習用に用意した大きなスケールの横で歩測の距離を確かめたりされていました。皆さん熱心に

挑戦していただき、来場者が途切れない状況で、小さなお子さんからご年配の方までたくさんの方に参加いただき、「距離を測る」ことを体験していただいております。

しかしながら、本年は開催が決定したタイミングでは感染拡大のピークは過ぎていたとはいえ、まだまだ感染状況が不透明な状況であり、時間も短縮されていましたので、例年の「距離あてゲーム」は行いませんでしたが、土地家屋調査士の業務内容が書かれたリーフレット、広報グッズ（タオルハンカチ・ボールペン・携帯クリーナー）、お子さん向けの駄菓子を用意して配布活動を行いました。

当初想定していたよりコロナウイルス感染症も落ち着いていたこともあり、非常にたくさんの方がお祭りに来られ、主催者の発表では35,000人が来場されたとのことでした。当方で用意した広報グッズも早々に配布を終えてしまう事態となりました。

早く例年どおりのお祭りが開催され、例年どおりの広報活動、さらに工夫した広報活動ができるように、感染拡大が一日も早く終息することを祈りたいと思います。

（社会事業担当副支部長・請田隆広）



広報グッズを配布し、「土地家屋調査士」をPRしました！！

北河内支部

「第一回 水都くらわんか花火大会」に協賛!

令和4年9月4日（日）、枚方市淀川河川敷で「第一回 水都くらわんか花火大会」が開催されました。

当支部社会事業部ならびに厚生部で、大阪土地家屋調査士会北河内支部として協賛させていただきました。



協賛団体として協賛金を出ささせていただくと、観覧シート設置のためにトランシットでポイント出しを行うことにより、特別な場所（最前列）で花火を見ることができます。

前日の雨と当日の天気予報から開催自体が心配されましたが、無事夜空を彩ることとなりました。

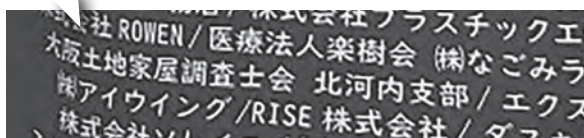
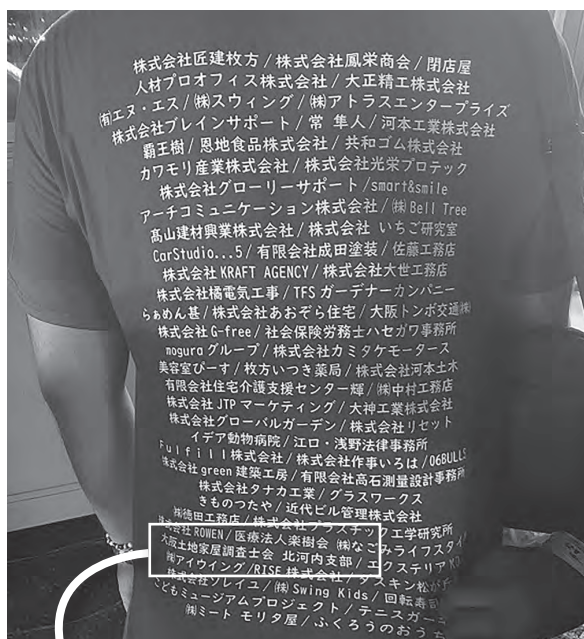
主催者あいさつでも私共の大阪土地家屋調査士会北河内支部を（シートになぞらえ）マイクで会場全体（数万人規模）にアナウンスしてくださいました。シートも最前列ですので迫力満点です。クライマックスはまとめて一気に打ち上げ暗い夜空を光の帯で彩りました。



すごい迫力だったと皆さんに喜んでいただけ、本当に良かったです。

ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

（社会事業部担当副支部長・大津拓馬）



北摂支部 令和4年度 吹田市地域防災総合訓練ブース展示のご報告



令和4年9月3日（土）に吹田市地域防災総合訓練が千里北公園で行われました。

当支部は合併前の旧三島支部の時代から毎年、ブース展示という形で参加させていただいており、合併後、北摂支部となった令和元年は例年どおり参加させていただきましたが、コロナ禍のため、令和2年、令和3年は同防災訓練が中止となり、今回は3年ぶりの参加となりました。同防災訓練は同日の午前9時に地震が発生したという想定で各協力団体の下、避難誘導訓練や身を守る訓練、消火訓練などをメイン会場で実施し、展示ブース会場では当支部を含め20団体によるブース展示、スタンプラリー、陸上自衛隊のカレーの炊出しなどが行われました。

世の中の情勢がイベント実施の方向になっているとはいえ、感染者が増えている実情の中、果たしてどれくらいの方々が来場されるのか不安でしたが、良い意味で予想を裏切る結果となり、令和元年を超えるたくさんの方々にご来場いただきました。

当支部のブースではトランシットでの簡単な測量体験や、地籍調査、14条地図の重要性、災害復興時の土地家屋調査士の役割などをPRさせていただき、中には熱心にご質問される学生、教職員の方もおられました。

また、小さなお子さん、お父さんお母さん共に初めてのぞくトランシットに感嘆の声を上げておられ、余裕をみて用意した大阪土地家屋調査士のノベルティ、500個あまりもブース展示終了の午後1時には全てお配りできる運びとなりました。

一般の皆さまに土地家屋調査士を知っていただく機会があまりない中、同防災訓練のブース展示は本当に貴重な行事であり、継続して参加していくことが重要であると感じました。

最後に蒸し暑い中、お手伝いいただいた辻大介会員、中川正規会員、本当にありがとうございました。

（公共事業部副支部長・安田 弘）





大阪府南部に位置する和泉市の山手に令和4年に創立150周年を迎える和泉市立横山小学校があります。

この学校は少子化の影響により令和6年度をもって、施設一体型義務教育学校「槇尾学園」に統合され閉校します。閉校後の校舎も解体されることが決まっております。

学校から150周年の記念にドローンを使って人文字を撮影してもらえないかとの依頼があり、令和4年度の支部事業として協力することが決まりました。

全校児童数は140名であり、人文字を描くには人数が少なく何を描き、児童をどのように配置するのか難しい問題も多く、子どもたちの思い出に残るものにしてあげたいという思いもあり、何度も小学校と協議を重ねました。

また、地域の人たちにとって150年の歴史ある小学校は非常に大きな存在であったので、3Dスキャナーによる測量を行い、データとして校舎を残す取り組みも行い、下記のとおりの事業内容に決定しました。

事業内容について

1.事業日時

令和4年11月2日（水）の3時間目から6時間目までを使用する。

2.人文字の作成

校庭に「祝150」の文字と校章のマークを児童たちがトランシットを使って描く。

校章のマークの上に児童が並びドローンで上空から写真を撮る。

3.教室での授業

4年生、5年生、6年生に土地家屋調査士が登記・測量について授業を行う。

4.体育館での工作

1年生、2年生、3年生に簡単な工作で高さを測る道具を作る。

5.校舎の3Dデータ化

校舎を3Dスキャナーで測量し、データとして残す。

人文字の作成について

3時間目は1年生から3年生、4時間目と5時間目は4年生から6年生がトランシットを使用し、文字を描くこととしました。



3時間目、1年生から3年生を縦割りの10班に分け、前半5班と後半5班に分けて交代でトランシット5台を使用して「1」、「5」、「0」のポイントを落とし、文字を描きました。トランシットを使用していない5班は平板の測量体験を行いました。



4時間目・5時間目の4年生から6年生は縦割りの12班に分けてもらい、トランシット6台を使用して、「祝」・校章のマークのポイントを落としました。

4時間目は1班から6班までがトランシットを使用し、7班から12班が平板を使用した測量体験を行い、5時間目は交代して作業を行いました。

最後に落としたポイントを線でつないで文字とマークを完成させました。



教室での授業

3時間目を使い、4年生は渡口優会員が「測量」の授業を行いました。

5年生は西明寺雄大会員、6年生は安部眞三会員が「登記と測量」の授業を行いました。



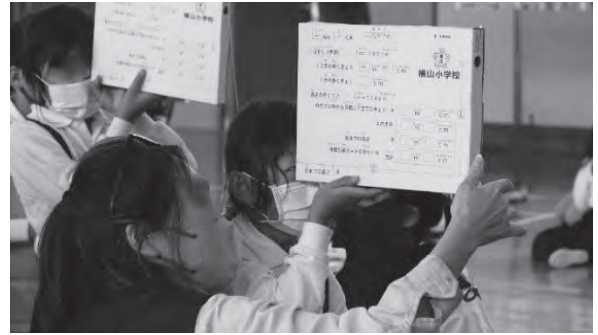
体育館での工作

1年生から3年生は4時間目に体育館で10班に分かれ、花田修会員が考案した高さを測る道具を作成しました。

(1:2になるように箱に穴を開けて、穴から目標物をのぞき、目標物までの距離を測り、その距離の半分に目の高さを足したものが目標物の高さになる。)



5時間目は体育館の校章のマークの高さを自分の作った道具で測りました。



ドローンによる撮影

全校生徒が校章のマークの中に並びドローンによる撮影を行いました。



校舎の3次元画像化

3Dレザースキャナー（ライカジオンシステムズ株式会社協力）、ドローン（大阪城支部 仲田隆司会員協力）を使用し、校舎の測量を行い、解体予定の校舎を点群データ化し、3次元画像として解体後もデータ上で確認できるようにしました。



最後に

全校児童140人に3時間目から6時間目までの4時間を使い、土地家屋調査士が授業を行うという大きな事業を無事に終えることができ、正直「ホッ」としたというのが本音です。準備不足もあり、不安もありましたが、堺支部から6名の会員のご協力もあり、参加いただいた30名の土地家屋調査士の頑張り、素晴らしい対応能力で無事に事業が成功し、本当に感謝いたします。ありがとうございました。

そして何より子どもたちが真剣にトランシットをのぞいている姿やミラーの気泡管を一生懸命合わせている姿を見ることができ、とてもうれしかったです。最後のドローン撮影ではみんなが上を向いて楽しそうに手を振っている姿を見ると、子どもたちの思い出の一つになったのではないかと感じました。そしていつかこの子どもたちの中に土地家屋調査士になる子がいたら、なんて素晴らしいことだろうと考えています。そしてそのとき、この事業が本当の意味での成功といえるのかもしれない。

（支部長・達 光隆）



情報公開に関する規則、戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書取扱管理規程、補助者規則の一部改正、イントラネット検討委員会規則の新設について

令和4年9月8日（木）の第4回理事会で「情報公開に関する規則」「戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書取扱管理規程」の一部改正、「イントラネット検討委員会規則」が新設、令和4年11月10日（木）第5回理事会で「補助者規則」の一部が改正され、それぞれ同日に施行されました。

改正内容につきましては滞標ネット書庫内会員必携の追加更新をご確認ください。

あなたの
挑戦のそばに
三井住友海上は
いつもいます。

安心のゴールキーパー

GK

 クルマの保険

 すまいの保険

 ケガの保険

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上

www.ms-ins.com



MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K, adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.

大阪土地家屋調査士政治連盟だより

新年明けましておめでとうございます。平素より当連盟の活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

本年も土地家屋調査士の社会的地位の向上と事務所経営の安定と繁栄を目的とした活動を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

さて、昨年夏の参議院選挙の後、政治連盟の活動は本会および連盟役員による合同会議、9月30日(金)に行われた立憲民主党「政策・制度意見交換会」への出席、また、10月31日(月)に開催された自民党大阪府連「政経懇談会」へは本会役員および連盟役員、幹事の7名が参加し、法務行政への意見を述べさせていただきました。

11月25日(金)には政権与党である大阪府公明党議員団と政策要望についての勉強会に参加し、12月1日(木)には大阪司法書士政治連盟様との合同会議を行い、実務の業務と同じく、合同で登記行政に影響を持つことのできる団体として活動することを確認しました。

また、地域選出の国および地方議員の政策報告会などに、会長はじめ役員も精力的に出席し、政策活動を見守っております。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご活躍をお祈り申し上げますとともに、今年も記憶に残る良い年になりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

(広報担当副会長・井之上 貢)

測量機械・ノンプリズムトータルステーション
測量 CAD システム・レーザー機器・複合機・土木試験機
セオドライト・レベル・光波距離計レンタル

各種機械販売及び修理

株式会社 大阪西部

代表取締役 落合 孝行

〒540-0004 大阪市中央区玉造1丁目14番13号

TEL 大阪06 (6768) 3191 (代表)

FAX 大阪06 (6762) 9761

E-mail: osakaseibu@ac.auone-net.jp

<https://r.goope.jp/osaka-seibu>



公益社団法人大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会だより

One For All, All For One (一人はみんなのために みんなは一人のために)

第38回定時社員総会を開催

令和4年9月16日(金)に大阪市北区の「ホテルグランヴィア大阪」で第38回定時社員総会を開催し、すべての議案が原案どおり可決承認されました。

本年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓の方々のご招待を見合わせ、懇親会も中止とし、議案書に基づいた議案審議のみとなりました。



第9回理事会を開催

令和4年10月13日(木)に第2回理事会を「エル・おおさか(大阪府立労働センター)」で開催しました。

理事会の中で地籍整備推進PT委員長の流王英樹副理事長から令和4年8月9日(火)に「エル・おおさか」で行われた地籍調査についての研修会の報告がありました。

講演者として地籍アドバイザーの猪木幹雄氏にお越しいただき、地籍整備推進PTのメンバー、協会社員、官公署の職員が参加しました。

講師の猪木氏は地籍調査に関する高度な知識を持った専門家として、国土交通省の地籍アドバイザーとして長年登録されており、数多くの市町村の要望

に応じて地籍調査のアドバイスや各種講演会を行い、地籍調査や測量に関する書籍を多く執筆しておられる地籍調査の第一人者です。

地籍調査(一筆地調査)を市町村が始める際に行う計画・準備・着手について、こういった準備が必要で、滞りなく事業に着手するためにはどうすればよいかなどのノウハウを分かりやすく説明していただき、参加したPTメンバー、協会社員、官公署の職員の方々にとって大変有意義な研修となりました。

地籍調査につきましては今後各市町村などが積極的に事業を行っていきと見込まれており、協会としても地籍整備推進PTを中心に引き続き研修会などを行い、協会社員全体でスキルアップをし、業務啓発および受注対応に注力していきます。



公益社団法人大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会では随時社員を募集しています。

官公署等からの委託に土地家屋調査士のスキルを発揮して取り組むやりがいのある業務ですので、ぜひ入会をお待ちしています。



大阪土地家屋調査士協同組合だより

大阪土地家屋調査士会 後援のレクリエーションを開催しました



令和4年10月29日(土)、令和4年度の厚生事業として、大阪土地家屋調査士会後援のバーベキューイベントを奈良県生駒市の生駒山麓公園の中にある野外活動センターで開催しました。

コロナ禍、バーベキューのイベントは3年ぶりの開催となり、大人、子どもを含め合計98名の参加者となりました。

気持ちのいい秋晴れで、朝は少し冷え込んだものの昼間は気温が上がり過ごしやすい陽気となりました。また、紅葉している木々が見られたり、秋風で頭にどんぐりが落ちて来たりと、秋の雰囲気を感じることができました。

おのおのでハイキングを楽しんで来られた方もたくさんいらっしゃったので、来年は参加者全員でハイキングも楽しめるよう願っています。

お昼の12時ごろ、参加者全員がそろって、辰巳好数理事長の挨拶、ご来賓の中林邦友会長の挨拶、米山太一郎支部長会議議長の乾杯でバーベキューが



始まり、一体感を感じるイベントとなりました。

バーベキューは、空気も良く、ご家族のグループ、支部会員のグループとも、用意した食材や持ち込まれた食材を存分に堪能されたと思います。お腹が満たされたころ、梶谷信副理事長の司会で、抽選会が行われ、終始にぎやかな雰囲気のもと楽しいイベントとなり、さらに交流の輪が深まったと思います。

用意した食材や飲み物もほぼ完食となり、無事終わることができました。

後援いただきました大阪土地家屋調査士会をはじめ、ご参加いただきました組合員・会員・ご家族・従業員の皆さま、誠にありがとうございました。



これからのレクリエーションも皆さまに気軽に参加し楽しんでいただけるイベントを企画したいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

大阪青年土地家屋調査士会だより

《大阪青年土地家屋調査士会活動報告》

新型コロナが収まりそうで収まらない時期が長くなっており、青調会の活動も残念ながら滞っているのが現状です。

ただ少しずつですが、他団体の青年会さん(司法書士・税理士など)と交流を再開する動きをしているところです。

個人的な話で申し訳ないのですが、悩んでいたことがあります。

われわれの業務の中で測量業務はどうしても1人でできないのが大半であり、私も当然例外なく2人以上で行うことがほとんどです。

ところが今まで手伝ってもらっていた人の体調が悪くなり、現場に出てきてもらうことが不可能になりました。

これは大きな痛手でした。なかなか動きが取れず業務の進行にも支障がきたすときもありました。

そのときに助けていただいたのが、青調会の仲間でした。

それまでにいろいろ話をして信頼関係は築けていましたので、声を掛けやすかったのは事実です。

時には前日に連絡させてもらっても翌日快くお手伝いしていただいたりして大変助かりました。

もちろん、相手のご都合によってお手伝いができなかったことはありますが…。

現在、お1人で業務されている調査士さんが結構な割合を占めていると聞きます。

そういう方には青調会を通じて支部の仲間とはまた違う仕事仲間を見つけていただくのも業務をスムーズに進める方法の一つかなと思います。

今回は、活動報告ではなく、ほとんど私個人の報告になってしまいましたが、こんなメリットもあるよということで青調会の入会も一度お考えいただければと思います。(中央支部・富岡 隆)

新入会員募集

われわれは新入会員を随時募集しております。

会費は無料です。

入会ご希望の方は下記HPの入会案内フォームに必要事項を記入して送信してください。

大阪青年土地家屋調査士会 HP アドレス:

<http://oskseicyou.hotcom-land.com/wordpress/>

土地家屋調査士倫理綱領（第43回・日調連総会制定）

1. 使命 不動産に係る権利の明確化を期し、国民の信頼に応える。
2. 公正 品位を保持し、公正な立場で誠実に業務を行う。
3. 研鑽 専門分野の知識と技術の向上を図る。

会 員 異 動 (R4・12・1 現在)

入 会 者 (6名)				
氏 名	登録番号	支 部	入 会 年 月 日	事務所所在地・電話・FAX 番号
齋 藤 千 起	3427	北	4・10・3	〒530-0003 大阪市北区堂島一丁目1番5号 関電不動産梅田新道ビル12階 ☎06-6147-5897 ☎FAX06-6147-5898
橋 本 佳 行	3428	北	4・11・1	〒530-0027 大阪市北区堂島町1番5号 三共梅田ビル3階 ☎06-4301-4473 ☎FAX06-4301-4474
山 形 健 介	3429	北	4・11・1	〒530-0046 大阪市北区菅原町11番10号 オーキッド中之島ビル401号 ☎06-4397-3392 ☎FAX06-6366-5020
西 川 文 明	3430	北	4・11・1	〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-15-8 ☎06-7176-4353
神 田 悠	3177	北河内	4・11・18	〒571-0078 門真市常盤町6番18号 ☎072-885-1481 ☎FAX072-885-1671
臼 井 敬 明	3431	北	4・12・1	〒530-0026 大阪市北区神山町8番1号 梅田辰巳ビル ☎06-4709-0355 ☎FAX06-4709-0356

事 務 所 変 更 (5名)					
氏 名	登録番号	旧支部	新支部	届 出 年 月 日	新事務所所在地・電話・FAX
辰 己 孝 道	2766	堺	堺	4・9・5	〒584-0014 富田林市川面町一丁目8-39-103 ☎0721-20-1065 ☎FAX0721-20-1065
灘 本 純 弥	3284	北	北	4・10・3	〒531-0072 大阪市北区豊崎五丁目3番23号 ジュリアビル806号室 ☎06-6467-4380 ☎FAX06-6467-4381
井 畑 正 敏	1489	北	北	4・10・4	〒530-0044 大阪市北区東天満一丁目11番15号 若杉グランドビル別館2階 ☎06-4800-0098 ☎FAX06-4800-0099
横 山 慶 子	1986	北	北	4・10・21	〒530-0047 大阪市北区西天満4-6-29 ☎06-6364-7574
安 永 孝 康	3351	北	北	4・10・25	〒531-0071 大阪市北区中津三丁目6番21号 S&SⅢビル102 ☎06-6110-5230 ☎FAX06-6110-5232

退 会 者など（資格取消・喪失者を含む）（ 7 名）				
氏 名	登録番号	支 部	届 年 月 日	退 会 理 由
横 田 勝 治	1998	大阪城	4・8・23	死 亡
北 田 克 己	2366	中央	4・9・3	死 亡
井 上 清 孝	2203	北摂	4・9・28	長 期 休 業
木 村 敏 幸	1395	中央	4・9・30	業 務 廃 止
吉 田 珠 美	3377	北	4・10・31	業 務 廃 止
下 角 訓 司	2118	大阪城	4・11・29	業 務 廃 止
水 野 浩	2855	北河内	4・11・30	業 務 廃 止

法 人 事 務 所 会 員 関 係

新 規 登 録 事 務 所（ 1 法人）			
名 称	支 部	社員・会員登録番号	事 務 所 所 在 地 ㊟主たる事務所 ㊞従たる事務所 (電話番号・FAX番号)
トレイス 土地家屋調査士法人大阪	北	杉村 光昭 3119	㊟ 〒532-0011 大阪市淀川区西中島三丁目22番20号 ☎06-6195-1103 ㊞06-6195-1104

登 録 事 務 所 変 更（ 1 法人）		
名 称	支 部	事 務 所 所 在 地
土地家屋調査士法人 TRUST	北	㊟ 〒531-0071 大阪市北区中津三丁目6番21号 S&SⅢビル102 ☎06-6110-5230 ㊞06-6110-5232

法 人 の 退 会（ 1 法人）	
名 称	支 部
土地家屋調査士法人 飯塚昌弘合同事務所	北

第8回常任理事会

令和4年9月8日(木)午後3時から本会3階役員室で第8回常任理事会が開催され、各部などからの報告事項に続き、第4回理事会についてなど次の各事項が審議・協議された。

＜出席者・敬称略＞中林・山脇・松島・相澤・加藤(充)・吉田・濱口・中島

審議事項

- ①第4回理事会について

協議事項

- ①協同組合事務局設置のエアコンについて

第9回常任理事会

令和4年10月20日(木)午後4時から本会4階会議室で第9回常任理事会が開催され、各部などからの報告事項に続き、制度対策委員会からの答申についてなど次の各事項が審議・協議された。

＜出席者・敬称略＞中林・山脇・松島・相澤・加藤(充)・吉田・濱口・中島

個別報告

- ①和解あっせん人・仲裁人候補者名簿改製について
②戸籍謄本等職務上請求書使用簿の写しの提出について

審議事項

- ①支部と調査士会との災害発生時における支援協力に関する協定について
②第5回理事会について

協議事項

- ①会則別紙（入会金及び会費に関する規程）の一部変更について
②地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅看板広告の継続掲出について
③25条の2資料開示の利用・複写申込書について
④制度対策委員会からの答申について
⑤資料センター室用パソコンについて
⑥事務局用PCの追加購入について

- ⑦退任役員感謝状贈呈式の開催について
⑧令和5年新年互礼会の開催について
⑨支部保管会員台帳及び補助者台帳の引き上げに関する回答書について
⑩年計報告書の提出方法に関する日調連に対する要望について
⑪役員等選任規程第3条第2号なお書きによる理事の数について
⑫セキュリティUTM及び文書サーバーについて
⑬大阪司法書士会との協議会の会場について

第10回常任理事会

令和4年11月10日(木)午後3時から本会3階役員室で第10回常任理事会が開催され、各部などからの報告事項に続き、名誉会員の委嘱についてなど次の各事項が審議・協議された。

＜出席者・敬称略＞中林・山脇・松島・相澤・加藤(充)・吉田・濱口・中島

個別報告

- ①資料センターの電子契約について

審議事項

- ①資料センターの電子契約の決裁権限者について
②第5回理事会について

協議事項

- ①名誉会員の委嘱について

令和4年度 第1回理事会

令和4年4月21日(木)午後4時から本会4階会議室で第1回理事会が開催され、会長の挨拶に続き、各部長、支部長会議議長、各種委員会などからの報告・連絡事項があり、次の各事項が審議された。

審議事項

- ①第1号議案 令和3年度事業経過報告について
[結果] 全会一致で承認された。
②第2号議案 令和3年度決算報告について
[結果] 賛成多数で承認された。
③第3号議案 令和4年度事業計画案について
[結果] 賛成多数で承認された。

- ④第4号議案 令和4年度予算案について
[結果] 全会一致で承認された。
- ⑤第5号議案 会長表彰被表彰者について
[提案理由] 大阪土地家屋調査士会表彰規程第2条（選考委員会）に基づき設置された選考委員会（4月7日開催）で審議の結果、別添の会員を本年度の大阪土地家屋調査士会会長表彰の被表彰候補者としたので、同規則第3条（選考方法）に基づき提案する。

[結果] 全会一致で承認された。

- ⑥第6号議案 民間総合調停センター支援連絡委員会委員の追加選任について
[提案理由] 今般、民間総合調停センター支援連絡委員会（以下 支援連絡委員会という。）委員の大阪城支部 濱口泰隆会員（以下 濱口委員という。）が民間総合調停センター運営委員会（以下 運営委員会という。）の委員を令和4年3月31日の任期満了に伴い退任することとなったため、堺支部 京谷智弘会員（以下 京谷会員という。）を運営委員会委員に推薦し、3月23日開催の民間総合調停センターの理事会で4月1日から運営委員に就任することが承認された。

については、濱口委員が令和4年3月31日をもって支援連絡委員会を退任することを報告するとともに京谷会員を本日付けで支援連絡委員会委員に追加選任することを提案する。

[結果] 全会一致で承認された。

この後、監事からの意見等があり、閉会した。

第2回理事会

令和4年5月25日～30日

●書面による決議の同意について

- 【結果】 会則第34条第8項の規定により副会長及び理事全員の同意を得た。

審議事項

- ①第1号議案 令和4年度第79回日本土地家屋調査士会連合会定時総会の代議員の選

出について

- [提案理由] 令和4年6月21日、22日開催予定の日本土地家屋調査士会連合会第79回定時総会の代議員について、会則第36条第8項の規定に基づき下記の5名を提案する。
※4月1日現在の会員数は1,011名である。（調査士会員959名、法人会員52名）

記

松島 稔、山脇 優子、加藤 充晴、
吉田 栄江、中島 幸広 計5名

[結果] 全会一致で承認された。

- ②第2号議案 民間総合調停センターの理事推薦について

- [提案理由] 民間総合調停センターから理事・監事の推薦依頼がきており、先方から推薦については出来る限り現理事の推薦をお願いしたいとの意向がある。ついては、現理事の西田寛会員を推薦することを提案する。

[結果] 全会一致で承認された。

第3回理事会

令和4年6月30日(木)午後4時から本会4階会議室で第3回理事会が開催され、会長の挨拶に続き、各部長、支部長会議議長、各種委員会などからの報告・連絡事項があり、次の各事項が審議された。

審議事項

- ①第1号議案 令和4年度事業計画実施細目について
[提案理由] 本年度の事業計画に基づく事業計画実施細目について、配布資料のとおり提案する。
[結果] 全会一致で承認された。
- ②第2号議案 令和4年度役員報酬について
[提案理由] 会務運営規則第4条の2第3項により、定時総会後の理事会で役員の報酬額を決める必要があるため、令和4年度の役員報酬について提案する。
[結果] 全会一致で承認された。

③第3号議案 防犯カメラシステムの更新について
 [提案理由] 現在の本会会館の防犯カメラシステムは導入から12年経過しており、修理対応年数の8年を超過しております（法定対応年数6年）。そのため、現機器が故障した場合、新規機器の導入までの間防犯カメラシステムが作動しない状況が発生することとなる。本会では個人情報や機密文書などを保管していることから、最低限のセキュリティを整備しておく必要があり、防犯カメラシステムが作動していない期間が発生することは望ましくない。よって、現状で機器が故障している訳ではないが、故障に備えて防犯カメラシステムの更新をすることを提案する。

なお、契約内容については6年リース（税別¥12,010/月）とし、リース料は会館維持費－維持管理費から支出することを提案する。

[結果] 防犯カメラシステムの更新をすることについて、6年リース（税別¥12,010/月）とし、リース料は会館維持費－維持管理費から支出することが全会一致で承認された。

この後、監事からの意見等があり、閉会した。

業 務 日 誌

◇ 9 月 ◇

- 1日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）角相談員
- 2日・社会事業部会（会館）
 ・事務局サーバー現状確認・PC設定（会館）井上総務部理事
 ・ADR特別研修考査備品受け取り（会館）濱口業務研修部長
- 3日・ADR特別研修考査（新大阪丸ビル別館）松島副会長、濱口部長
 ・近ブロ研修部会（新大阪丸ビル別館）松島副会長、濱口部長
- 6日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）池原相談員
- 7日・岡田修二名誉会員通夜・告別式（泉屋メモリアルホール奈良学園前）中林会長
 ・業者打合せ（事務局サーバー）（会館）井上理事
 ・支部長会議（会館）
 ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）塩田相談員
- 8日・入会面談（会館）竹内・井上各総務部理事
 ・常任理事会（会館）
 ・理事会（会館）
 ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）佐古相談員
- 9日・全日本不動産協会大阪府本部設立70周年記念式典・祝賀会（会館）中林会長
 ・政治連盟常任幹部会（会館）相澤副会長
 ・協同組合部長会（会館）笠原財務部理事
 ・筆界調査委員養成講座講師打合せ（会館）森口・八幡・藤野各筆界特定制度推進委員
 ・境界問題相談センターおおさか規則等改正小委員会（会館）
- 12日・総務部会（会館）
- 13日・公明党政策要望懇談会（関西公明会館）中林会長、相澤副会長
 ・財務部会（会館）
 ・財務部（厚生）業務連絡会（会館）
 ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）山田相談員
- 14日・境界問題相談センターおおさか事前無料相

談（会館）辻田境界問題相談センターおお
さか推進委員長、京谷同委員

- ・非調査士活動排除実態調査（法務局本局・東大阪支局）井手下境界問題相談センターおおさか推進委員長、小川・雨宮各同副委員長、藤田（嘉）・山本・杉本・藤田（好）・中川・綿谷・馬野・川崎・島田・津本・安原各同委員
- ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）河崎相談員

15日・境界問題相談センターおおさか推進委員会（会館）

- ・境界問題相談センターおおさか運営委員会（会館）
- ・民間総合調停センター広報・研修合同部会（大阪弁護士会）
- ・民間総合調停センター運営・財務委員会（大阪弁護士会）
- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）竹本相談員

20日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）森山相談員

21日・地籍整備促進委員会（会館）

- ・会員証交換（会員研修会）（会館）加藤（充）総務部長、和田同副部長、井上・塩田各同理事
- ・業務研修部会（会館）
- ・会員研修会（エル・おおさか）
- ・調停事件手続打合せ（会館）辻田委員長、西田境界問題相談センターおおさか副委員長、浅井・京谷各同委員
- ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）加藤（眞）相談員

22日・部落解放同盟大阪府連合会来会（会館）山脇副会長、加藤（充）部長

- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）濱口・瀧本各相談員

26日・業者打合せ（事務局サーバー）（会館）井上理事

27日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）安岐相談員

- ・資料センター運営委員会（会館）

28日・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）田中（秀）相談員

29日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）田中相談員

30日・第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ大会第3回実行委員会（京都会）加藤（充）部長

- ・筆界調査委員養成講座講師打合せ（会館）森口・八幡・藤野各委員
- ・立憲民主党政政策・制度意見交換会（エル・おおさか）相澤副会長

◇ 10 月 ◇

3日・近プロ業務部会（Web）濱口部長

4日・境界問題相談センターおおさか研修会（会館）

- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）今西相談員

5日・会長指導（会館）中林会長、山脇副会長、加藤（充）部長

- ・社会事業部会（会館）
- ・各種講座打合せ（Web）濱口部長、森口業務研修部副部長、安岐同理事
- ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）笠原相談員

6日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）藤田相談員

- ・イントラネット検討委員会（会館）
- ・業者打合せ（事務局サーバー）（会館）井上理事

7日・筆界特定制度推進委員会（会館）

- ・第35回日調連ゴルフ大会（京都 城陽カントリークラブ）中林会長、加藤（充）部長

8日・第35回日調連ゴルフ大会（京都 城陽カントリークラブ）中林会長

10日・竹内八十二君の旭日双光章受章を祝う会（東京ドームホテル）中林会長

11日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）阪口相談員

12日・協同組合エアコン設置確認他（会館）井上理事

- ・事務局職員面談（会館）山脇副会長、加藤（充）部長、和田副部長
- ・第1回全国会長会議（Zoom）（会館）中林会長
- ・境界問題相談センターおおさか事前無料相談（会館）田中・杉田各境界問題相談センターおおさか推進委員
- ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）森口相談員

13日・支部長会議（会館）

- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）山田相談員
- ・大阪市マンション管理支援機構第6回常任委員会（大阪市立住まい情報センター）奥田社会事業部副部长、正井会員
- 14日・オンライン申請促進委員会（Web）
 - ・総務部会（会館）
 - ・入会面談（会館）和田副部长、竹内・永野・井上各理事
 - ・地籍整備促進委員会（愛知・岐阜公嘱協会）（15日も）坂田地籍整備促進委員長、森同委員
 - ・協同組合部長会（会館）河崎財務部副部长
- 17日・綱紀委員会（会館）
 - ・法務局岸和田支局との打合せ（法務局岸和田支局）西村資料センター運営委員
- 18日・民間総合調停センター広報・研修合同部会（Web）
 - ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）高山相談員
- 19日・財務部会（会館）
 - ・業務研修部会（会館）
 - ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）森次相談員
- 20日・中間監査（会館）
 - ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）西田相談員
 - ・常任理事会（会館）
 - ・事務局職員面談（会館）山脇副会长、加藤（充）部長
- 25日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）山口相談員
 - ・民間総合調停センター研修会 PT 会議（Web）
- 26日・資料センター運営委員会（会館）
 - ・労働組合団体交渉（会館）山脇副会长、加藤（充）部長
 - ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）彦坂相談員
 - ・大阪市マンション管理支援機構ナイトトーク・企画（大阪市立住まい情報センター）正井会員
- 27日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）安岐相談員
- 28日・境界問題相談センターおおさか推進委員会（Web）
 - ・境界問題相談センターおおさか運営委員会（Web）

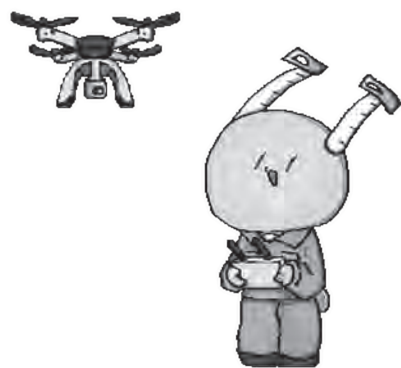
- ・境界問題相談センターおおさか規則等改正小委員会（Web）
- 29日・協同組合レクリエーション（生駒山麓公園）中林会長、米山支部長会議議長

◇ 11 月 ◇

- 1日・年次制研修（会館）森口副部长
 - ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）角相談員
- 2日・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）安岐相談員
 - ・北摂支部明示協議会（池田市民文化会館）中島部長
 - ・堺一日合同行政相談（堺市産業振興センター）田中・小林各社会事業部理事
 - ・年次制研修（会館）濱口部長
- 4日・近プロ正副会長会議（かうらい屋）中林会長
 - ・年次制研修（会館）濱口部長
- 7日・年次制研修（会館）森口副部长
- 8日・紛議調停委員会（会館）
 - ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）池原相談員
 - ・補助者研修会（会館）森次業務研修部副部长
- 9日・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）阪本相談員
 - ・境界問題相談センターおおさか事前無料相談（会館）京谷・田中各委員
- 10日・大阪市マンション管理支援機構第7回常任委員会（大阪市立住まい情報センター）奥田副部长、正井会員
 - ・資料センター室ノートパソコン確認作業（会館）井上・竹内各理事、西村委員
 - ・大阪工業大学山口教授挨拶（大阪工業大学）京谷産学交流学術研究委員長、中島（芳）同副委員長
 - ・会館内備品チェック（会館）和田副部长、永野・井上各理事
 - ・常任理事会（会館）
 - ・理事会（会館）
 - ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）佐古相談員
- 11日・協同組合部長会（会館）吉田財務部長
- 14日・社会事業部会（会館）
 - ・業務部業連（会館・Web）
- 15日・民間総合調停センター支援連絡委員会（Web）
 - ・紛議調停委員会（会館）

- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）山田相談員
- 16日・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）石川相談員
- ・第35回支部長会親睦ゴルフ大会（山の原ゴルフクラブ）
- ・教授へ挨拶（大阪大学）京谷委員長、中島（芳）副委員長
- 17日・財務部会（会館）
- ・近プロ社会事業部会（兵庫会）中島部長
- ・政治連盟常任幹部会（会館）相澤副会長
- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）竹本相談員
- 18日・入会面談（会館）加藤（充）部長、和田副部長、永野・井上・竹内各理事
- ・総務部会（会館）
- ・三代会長懇談会（愛知会）中林会長、山脇副会長
- ・地籍整備促進委員会（会館）
- ・近プロ財務部会（Web）吉田部長
- ・備品リスト作成（会館）加藤（充）部長、井上理事
- 21日・紛議調停委員会（会館）
- ・民間総合調停センター研修会（大阪弁護士会）
- ・オンライン申請促進に関する研修会（Web）
- 22日・近プロ正副会長会議（京都会）中林会長
- ・近プロ総務部会（京都会）加藤（充）部長
- ・各種講座（会館）
- ・境界問題相談センターおおさか推進委員会（会館）
- ・境界問題相談センターおおさか運営委員会（会館）
- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）森山相談員
- 24日・民間総合調停センター運営・財務委員会（大阪弁護士会）
- ・民間総合調停センター広報・研修合同部会（大阪弁護士会）
- ・表示登記実務研究会（会館）
- ・業務研修部会（会館）
- ・資料センター運営委員会（会館）
- ・カレンダー持参（法務局本局）中島部長
- ・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）瀧本相談員
- 25日・大阪司法書士会との協議会（LOVE CENTRAL）中林会長、松島・山脇各副会長、加藤（充）・

- 吉田・濱口・中島各部長
- ・公明党議員団との勉強会（プリムローズ大阪）中林会長
- ・聴聞（会館）山脇副会長、加藤（充）・吉田各部長
- 28日・非調案件打合せ（大阪地方検察庁）山脇副会長、加藤（充）部長
- ・綱紀委員会（会館）
- 29日・筆界特定室振分相談出向（法務局本局）八幡相談員
- 30日・近畿大学寄付講座講師会議（会館・Web）
- ・大阪法務局無料登記相談（法務局本局）塚田相談員



公嘱協会の動き

◇ 9 月 ◇

- 6日・インボイス制度への対応についての打合せ（協会）板野顧問弁護士、勝山公認会計士、船原理事長、流王・西谷副理事長、安倍・太田・山田常任理事、三好事務局長、山内職員
- 9日・第2回常任理事会（エル・おおさか）
- 16日・第38回定時社員総会（ホテルグランヴィア大阪）
- 20日・第2回近公連理事長会議（協会）船原理事長
- 28日・第1回明示補助業務PT（「Zoom」によるテレビ会議）

◇ 10 月 ◇

- 4日・第3回常任理事会（協会）
- 6日・インボイス制度への対応についての打合せ（協会）板野顧問弁護士、勝山公認会計士、船原理事長、流王・西谷副理事長、安倍・太田・山田常任理事、三好事務局長、山内職員
- 7日・第35回近公連通常総会（ANAクラウンプラザホテル神戸）船原理事長、流王・西谷副理事長
 - ・近公連研修会（ANAクラウンプラザホテル神戸）船原理事長、流王・西谷副理事長、安倍・太田・山田常任理事、阪本・奥井・津本・岡田理事
- 13日・入会希望者面接（協会）安倍総務部長、三好事務局長
 - ・第2回理事会（エル・おおさか）
- 14日・愛知協会へ研修視察（愛知県）船原理事長、流王・西谷副理事長、安倍総務部長、（大阪土地家屋調査士会 地籍整備促進委員会 坂田委員長、森委員）
- 15日・岐阜協会へ研修視察（岐阜県）船原理事長、流王・西谷副理事長、安倍総務部長、（大阪土地家屋調査士会 地籍整備促進委員会 坂田委員長、森委員）

◇ 11 月 ◇

- 8日・第4回常任理事会（協会）
- 16日・大阪土地家屋調査士会親睦ゴルフ大会（山の原ゴルフクラブ）船原理事長
- 17日・社員説明会の事前打合せ（協会）勝山公認会計士、船原理事長、流王・西谷副理事長、太田・山田常任理事、山内職員
 - ・第3回理事会（エル・おおさか）
 - ・第1回業務部会（エル・おおさか）
- 25日・インボイス制度についての社員説明会（エル・おおさか南ホール）
 - 講演：「インボイス制度への対応について」公認会計士・税理士 勝山武彦氏
 - 説明：「インボイス制度開始に伴う協会の方針について」～免税事業者等の社員へ支払う業務処理費用について～ 船原理事長、西谷経理部長
- 28日・全公連地図作成実務研修会（「Zoom」によるWEB配信）流王副理事長、阪本理事
- 29日・第3回近公連理事長会議（協会）船原理事長

行事予定

◇ 1 月 ◇

- 10日（火）常任理事会
- 19日（木）常任理事会
理事会
- 23日（月）自由業団体連絡協議会
- 27日（金）第10回境界問題相談センターおおさか運営委員会

◇ 2 月 ◇

- 3日（金）三会意見交換会（資料センター）
- 21日（火）常任理事会

◇ 3 月 ◇

- 2日（木）常任理事会
名誉役員会
- 16日（木）常任理事会
理事会

編集後記

- ◆新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまにはつつがなく新たな年をお迎えされたことと存じます。

さて、本年は民法改正が施行され、共有関係・相隣関係の見直しが行われ、新たに所有者不明土地管理制度が創設されることとなります。また、相続土地国庫帰属法も施行されます。

これらの情報を広報誌で、会員の皆さまに提供したいと考えておりますので、本年もよろしくお願いいたします。

(中島)

- ◆新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまには、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

夏の暑さの反動か、今年の冬はかなり冷え込むようで、現場作業にはつらいですね。お体には十分ご自愛ください。元気に頑張りましょう。

初めて拝命した理事の任期も、残り少なくなってきました。大阪会や調査士制度に少しでも寄与できるよう頑張りたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

(奥田)

- ◆所属する支部の次年度の役員を選考する時期になりました。支部には部会があり、担当する部長が副支部長として、次期支部執行部の役員候補として部員を時間かけて教育し、時には部会後反省会という呑み会で制度の未来を話す、といった付き合いを繰り返して支部を受け継いできました。

しかし、この数年はコロナによる世情の変化があり、支部人事の受け継ぎも厳しい環境となっています。皆さんもそういった組織であることをご理解いただき、役員のバトンを受け継いでいただきたいと願っています。

(加藤)

- ◆コロナでできなかった行事が、「3年ぶりに…」の言葉とともにあちらこちらで再開された。第8波とインフルエンザの心配は報じられていたが、いろんな規制も緩和され、元の生活に戻りつつあるように思えたが、またもや通天閣が黄色に変わってしまった。

年末、年始は多数の行事があり、赤色に変わることがないように願っています。

(彦坂)

- ◆新年明けましておめでとうございます。

各支部の広報活動が活発になり、おかげさまで本号に多数関連記事を寄稿いただきました。ありがとうございます。

任期期間も残り6カ月、変わらず広報活動に少しでも貢献できればと思いますので、会報誌に関するご意見がございましたら、何なりとお寄せください！ 本年もよろしくお願いいたします。

(玉置)

- ◆新年明けましておめでとうございます。

全国旅行支援キャンペーンや、各地での行事やイベントの再開など、明るく活発なニュースを見聞きできるようになりました。国際情勢や円高などの暗いニュースもありましたが、それらを吹き飛ばそうという人々の願いのようにも思います。

新しい1年、会員の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(田中)

- ◆新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまのご健勝とご清栄をお祈り申し上げますとともに、本年も旧年と変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。物事は初めが肝心なので、1年のことは年の初めの元日にしっかりと計画を立てて、立てた計画のもと着実に進むべき、という意味ですが、そんなに堅苦しく考えず、みんなで、「今年は楽しく良い年にするぞ～」と計画を立て、それを着実に実行していきましょう。

(小林)



訃 報



大阪城支部
横田 勝治会員
令和4年8月23日ご逝去
(享年72歳)

▽昭和57年3月29日入会

岡田 修二 名誉会員が
令和4年9月5日に亡くなりました。

＊謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます



おくやみ申し上げます

- ▽岡田 修二氏(中央支部 岡田 真一・尊父、
令和4年9月5日没、82歳)
- ▽大久保 秀男氏(堺支部 大久保 孝司・尊父、
令和4年9月10日没、90歳)
- ▽伊與部 猛夫氏(泉州支部 伊與部 浩人・尊父、
令和4年9月17日没、85歳)
- ▽坂上 一成氏(北河内支部 坂上 暢子・主人、
令和4年9月19日没、83歳)
- ▽森脇 正次氏(堺支部 森脇 英明・尊父、
令和4年9月26日没、85歳)
- ▽安井 信義氏(北摂支部 安井 功・尊父、
令和4年10月6日没、89歳)
- ▽中原 昭雄氏(大阪城支部 中原 享・尊父、
令和4年11月7日没、80歳)

訃報の対応について

事務局職員が在館する場合

- ① 電話で職員の在館を確認した上で、従来通り会館にFAXで連絡する。
- ② これを受けた職員は、所定の範囲の役員等にFAXで連絡する。

支部別会員数(R4・12・1現在)

○内数字は法人会員数

支 部	会員数	増減	支 部	会員数	増減
北	157 ^{①⑨}	4	北河内	75 ^②	0
中央	122 ^⑤	-2	北 摂	143 ^⑦	-1
大阪城	130 ^⑩	-1	堺	152 ^③	0
中河内	102 ^④	0	泉 州	76 ^⑥	0
			合 計	957 ^⑧	0

法人会員数 53法人(±0)

※増減は前回R4年9月1日比

北摂支部に在籍されていた森本 恒夫 元会員、
大阪城支部に在籍されていた松本 充弘 元会員、
中央支部に在籍されていた木村 敏幸 元会員
が 名誉会員になりました。

本会社会事業部員

中 島 幸 広 奥 田 祐 次
加 藤 眞 一 彦 坂 浩 子
玉 置 直 矢 田 中 秀 典
小 林 俊 彦
(社会事業部担当副会長) 相 澤 襲 雄

支部社会事業(広報)担当責任者

北 塚 田 徹 中 央 阿 部 孝 信
大阪城 請 田 隆 広 中河内 森 山 泰 久
北河内 大 津 拓 馬 北 摂 吉 田 孝 信
堺 白 井 康 之 泉 州 堀 川 経 希
(事務局) 寺 田 秀 美

■発行所 大阪土地家屋調査士会

■〒 540-0023 大阪市中央区北新町3番5号

■電 話 06(6942)3330(代)

■FAX 06(6941)8070

■E-mail: otkc-3330@chosashi-osaka.jp

■ホームページ: <https://www.chosashi-osaka.jp>

【好評図書のご案内】

正しい地図の作成に欠かせない「唯一の」実務解説書



4訂版

表示登記にかかる各種図面・ 地図の作成と訂正の事例集

9年ぶりの
改訂版!!

現 横浜地方法務局港北出張所統括登記官(所長) 宇山 聡 著

2022年5月刊 A5判 296頁 定価3,300円(本体3,000円) → 特価2,970円(税込)

不動産登記申請書記載例集の決定版!



表示登記編 完結!

不動産登記の書式と解説

第1巻 土地の表示に関する登記

第2巻 建物・区分建物の表示に関する登記

不動産登記実務研究会 著

[第1巻] 2021年11月刊 A5判 312頁 定価3,850円(本体3,500円) → 特価3,470円(税込)

[第2巻] 2022年3月刊 A5判 640頁 定価7,150円(本体6,500円) → 特価6,440円(税込)

消滅または改称した市町村の現市町村名を一発検索!



第3版 旧市町村名便覧

明治22年から現在まで(令和4年4月1日現在)

日本加除出版編集部 編

2022年5月刊 B5判 800頁 定価8,360円(本体7,600円) → 特価7,520円(税込)

特別価格・送料無料 書籍注文書 ご注文締切 2023年1月30日(月)必着

お届け 確認後、4~5営業日で、郵送または宅配にて出荷します。
※在庫が無い場合は、少々お時間を頂きます。

ご注文 FAX.03-3953-2061 太枠内を記入し、弊社に送信ください。

お支払 商品に同封の振込用紙をご利用ください(振込手数料は弊社負担)。

書名	特価(税込)	部数	書名	特価(税込)	部数
4訂版 表示登記にかかる 各種図面・地図の作成と訂正の事例集	40102 表各 2,970円	部	不動産登記の書式と解説 第2巻 建物・区分建物の表示に関する登記	49182 不書2 6,440円	部
不動産登記の書式と解説 第1巻 土地の表示に関する登記	49181 不書1 3,470円	部	第3版 旧市町村名便覧	40167 旧便 7,520円	部

12月29日(木)~1月4日(水)は年末年始休業とさせていただきます。
12月23日(金)以降にご注文いただきました商品につきましては、1月6日(金)
以降の発送となります。
年内発送のご注文は、12月22日(木)までにお願いいたします。

右記コードまたはURLからでも
特別価格・送料無料でご注文いただけます!
<https://forms.gle/bFj6KsbeginxMu146>



販促コード: 204860

フリガナ	TEL
お名前	FAX
ご住所 〒	通信欄

※ご記入いただいた個人情報は、商品の発送、お支払いの確認などの連絡および弊社からの各種ご案内(刊行物のDM、アンケート調査など)以外の目的には利用いたしません。



日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 www.kajo.co.jp

TEL (03)3953-5642 FAX (03)3953-2061 (営業部) ツイッターID: @nihonkajo

3次元の時代を迎え、 測量CADはいま、ONEへー



最強の64bitアプリケーション
「TREND-ONE」誕生!

TREND-ONE
測量CADシステム【トレンドワン】

マルチディスプレイ対応!

組み合わせ広がるマルチディスプレイ



地番情報を表示しながら図面編集:測点表示で網確認:線形表示と縦横断:
CAD&CAD表示で一般図...比較確認など抜群の効率化を実現

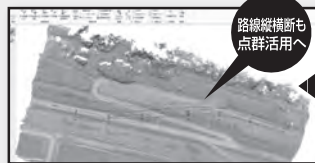
点群活用! TREND-POINT連携!



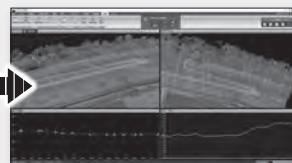
TREND-ONE
測量CADシステム【トレンドワン】



TREND-POINT
3D点群処理システム【トレンドポイント】



路線縦横断も
点群活用へ



3Dトレースや現況地形をもとに路線線形計画や概略設計

シンプル、メリハリ、見える“CAD”

集約・洗練されたコマンド・プロパティバー



マウスの移動量約1/3 (自社比)・目線移動も少なく快適作業

オープンデータの活用

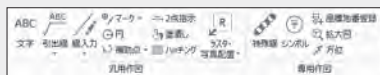
現場データを重ねて確実に・わかりやすく



地理院【標準地図】・【写真】等やストリートビュー活用!

使いやすさを追求したユーザーインターフェイス

“コマンドブレイン”・リボンインターフェイスで操作性向上!



リボンインターフェイス

コマンドブレイン

特許出願中

Q

文字

シンボル

ラスタ写真
一括配置
位置図作成

線入力

引出線

次に使用するコマンドを操作履歴から予測表示

ラスタ取扱い歴然の軽快感



大量枚数の写真・点群画像等々、巨大なデータも手軽に

福井コンピュータ株式会社

本社 / 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

●お電話でのお問合せは【福井コンピュータグループ総合案内】



0570-039-291

●製品の詳しい情報、カタログのご請求は

福井コンピュータ

<http://const.fukuicompu.co.jp>

検索

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・埼玉・千葉・東京・横浜・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

初学者向け 通信教育

午後の部 試験攻略のための 土地家屋調査士

特典!

本試験会場に持ち込める
必携の記述式用器具付き!

- 縮尺定規「すいすい君 すらすらちゃん」
- 全円分度器

関数電卓 (CASIO fx-JP500対応) の
複素数モードの機能を完全に
修得できるメディア教材付き!

- 複素数で解く土地の
記述式問題 (全6問) (PVD)

新 最短合格講座

選べる3コース 10タイプ ・DVDタイプ ・ダウンロードタイプ (MP4ファイル)

～ ホームページでサンプル映像配信中! ～

改正法にも
完全対応!!

注目! 東京法経学院はココがちがう!

7つのポイント

レクチャー
内堀 博夫 本学院専任講師

1 合格実績が違う!
他を圧倒した合格者を輩出
しています!

令和3年度土地家屋調査士試験
東京法経学院合格輩出実績
合格者404名中318名輩出
合格占有率78.7%

※公開模試や直前ファイナル等の短期講座のみ
受講の方、書籍・教材のみ購入の方は含まれて
おりません。

2 講師陣が違う!
担当の内堀専任講師をはじめ、
講師陣の層の厚さが半端ない!!

真の講義力は、受講生の反応をリアルタイム
で確認しながら進める対面授業(イン・パーソ
ン・クラス)によって身に付くものと考えており
ますが、担当の内堀専任講師は対面授業時間
数が1万時間を超えております。本講座では、
その対面授業で培った能力を十分に発揮して
いますので、安心して受講していただくことが
できます。近年合格した方を教壇に上げるこ
とはございません。

試験を知り尽くした講師陣が総力で、教材制
作や答案講座等の問題作成にあたっています。
試験傾向を徹底的に分析し、どのレベル、どの
角度からの問題にも対応できる良質の問題作
成に取り組んでいます。

3 テキスト・教材が違う!
入学しなければ入手できない、
講座専用完全オリジナル教材

本講座の学習に使用する教材の選択は、その後の
進行のすべてを左右する大切な部分です。本学院で
は、受験指導校としての実績をもとに合格に必要な
不可欠な知識を余すことなく網羅し発刊した、講座専
用の完全オリジナル教材「合格ノート」と「書式攻
略ノート」を使用いたします。本教材は非売品です
ので本講座に入学しなければ入手することはできま
せん。また答案練習講座(答練)に進級した際に使用
する解説書の【参照】欄には「合格ノート」の参照頁
を記載しておりますので、復習の際のムダな時間を大
幅にカットできるうえ、本試験直前の総まとめの場
面においても、爆発的な威力を発揮する、まさに合
格までのオールインワン教材となっております。

4 全コースに「過去問テキスト」がついてくる!
“平成年代”完全制覇!
昭和年代も重要問題はセレクトして収録!

資格試験において、過去問学習は必須項目です。
本学院の過去問集は昭和年代からの過去30年以
上の過去問を、常に最新の法令に準拠させ、受験
生の皆様にご提供しております。基礎力総合編にも
含まれています。

5 もちろん、複素数にも対応しています!
時間短縮に最適!

土地家屋調査士試験は、まさに時間との勝負と言
われる程、知識とテクニックが問われる試験といえま
す。複素数の修得はそれだけで有利になる計算テク
ニックなのです。

6 ダウンロード講義ファイルが扱いやすい!
(MP4ダウンロードタイプの方)
あらゆるシチュエーションに対応できる!

本学院のダウンロード講義ファイルは、オンラインでし
か見れないストリーミング配信とは異なり、一度ダウン
ロードしていただければ、あとはオフラインで視聴いた
だけます。USBメモリに入れて別のパソコンでの視聴は
もちろん、スマートフォン・タブレット等のモバイル端末
でのオフライン視聴も可能ですからバケツ量を気にす
ることもありません。しかも削除されない限り、受講期間
終了後も視聴できるから安心です。

7 充実した答練講座がちがう!(総合コースの方)
試験を知り尽くした講師陣による炸裂!
的中続出の新作予想問題!

過去問は最良の学習教材であります。がしかし、過去問
が本試験に出題されることはありません。本学院の答案練
習講座(答練講座)は試験を知り尽くした講師陣によっ
て、徹底的に試験分析を行い、狙われるであろう論点を確
実に網羅できるよう、すべて新作問題を出題しています。
基礎力総合編の受講後は、答練講座をペースメーカーとす
ることで、毎日が本番をシミュレーションすることができ、自
然と合格レベルに達することが可能となります。

学 費
(10%税込)

会長様の推薦状があれば、
特別減免学費でお申込み
できます。

土地家屋調査士 新・最短合格講座

基礎力総合編 / DVDタイプ

- 一般学費 222,200円
- 特別減免学費 144,430円

基礎力総合編 /
MP4映像ダウンロードタイプ

- 一般学費 182,600円
- 特別減免学費 118,690円



高実績と信頼 大人が選ぶ LICENSE SCHOOL

東京法経学院

★TEL. 03 (6228) 1453

★FAX. 03 (3266) 8018

★HP. <https://www.thg.co.jp>

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22 ナカバビル1階



資料請求



